

科目名	総合科目 I～VI	開講単位数
担当講師名	小笠原 喜康	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間	
	表紙			○本講座は4つのパート、12章で構成されています。また、それぞれのパートには学修期間が設定されています。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。	
第1章	ガイダンス		導入	○学修期間 1章～3章 4月16日～5月3日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。 ○「理解度チェック1」 解答期限は5月3日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		1-1	本の紹介		
1-2	論文してはならない3原則				
第2章	レポートの書き方①	2-1	原稿用紙の使い方		
		2-2	資料の調べ方・探し方		
第3章	レポートの書き方②	3-1	「辞典・事典・用語集」で言葉集め		
		3-2	読んでもらうためのレポートの構造		
理解度チェック1					
第4章	中身より見た目		導入		○学修期間 4章～8章 5月4日～5月17日までに学修及び理解度チェック2を受けて下さい。 ○「理解度チェック2」 解答期限は5月17日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		4-1	レイアウトと表記法		
4-2	見た目の文章配置				
第5章	わかりやすい文章にする3原則	5-1	無限半切の原則		
		5-2	重複禁止の原則		
		5-3	執拗通読の原則		
		5-4	まとめ		
第6章	文献・資料の集め方①	6-1	二つの文献検索法		
		6-2	「やみくも・いもづる・ねらい打ち」文献資料収集		
		6-3	価値ある文献の見極め方		
第7章	文献・資料の集め方②	7-1	Amazonのサイトで検索		
		7-2	GeNiiのサイトで検索		
		7-3	国立国会図書館のサイトで検索		
		7-4	NACSIS Webcatのサイトで検索		
		7-5	その他のサイトで検索		
第8章	文献・資料の整理方法	8-1	文献コピーの整理と読み方		
		8-2	ノートよりもカード		
		8-3	重要なデータは分散して保存		
理解度チェック2					
第9章	論文(卒論)の執筆手順		導入	○学修期間 9章～10章 5月18日～5月31日までに学修及び理解度チェック3を受けて下さい。 ○「理解度チェック3」 解答期限は5月31日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		9-1	卒論執筆計画の立て方		
9-2	論構成と章構成の方策				
第10章	注釈・引用・参考文献の示し方	10-1	近年型による引用文・注釈の示し方		
		10-2	注釈と引用・参考文献の章末・巻末での表記		
理解度チェック3					
第11章	論文論(よい論文とは)		導入	○学修期間 11章～12章は開講最終日まで受講が可能です。6月1日～6月22日がレポート試験提出期間になりますので、注意してください。	
		11-1	よい文の3原則		
		11-2	わかりやすい文の書き方		
第12章	瀬戸際のテクニック	11-3	よい論文の3原則		
		12-1	締め切りまでに書く		
		12-2	書式・論構成のテクニック		
		12-3	「あいまいさ」を求めて		
12-4	大学で学ぶ意味				
試 験				○「試験」 レポート試験は6月1日～6月22日までが、出題及び提出期間となります。これを過ぎると提出できなくなります。	
受講後アンケート				6月1日～6月23日がアンケート回答期間になります。	
復習期間				試験終了後の6月23日は全章の復習期間にしてください。	

科目名	総合科目 I～VI	開講単位数
担当講師名	鍋本 由徳	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間
	表紙			○本講座は4つのパート、12章で構成されています。また、それぞれのパートには学修期間が設定されています。○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。
第1章	本講義を学習するにあたって		導入	○学修期間 1章～3章 4月16日～4月30日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。 ○「理解度チェック1」 解答期限は4月30日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		1-1	講義のねらいと各章の構成	
		1-2	日本大学の特色	
		1-3	日本大学の現況	
第2章	日本大学120年の歩み I		自己点検	
			導入	
		2-1	創立前後	
		2-2	専門学校認可	
		2-3	大学令による大学に	
第3章	日本大学120年の歩み II	2-4	総合大学への礎	
		2-5	創立五十年と太平洋戦争	
			自己点検	
			導入	
		3-1	戦後教育改革と日本大学	
第4章	日本法律学校の誕生	3-2	新制日本大学の発足	
		3-3	高度経済成長と日本大学	
		3-4	高学歴社会と日本大学	
		3-5	国際化・情報化時代と日本大学	
理解度チェック1				
第4章	日本法律学校の誕生		自己点検	○学修期間 4章～6章 5月1日～5月14日までに学修及び理解度チェック2を受けて下さい。 ○「理解度チェック2」 解答期限は5月14日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		4-1	日本の近代化と法典整備	
		4-2	近代法教育の開始	
		4-3	日本法律学校の創立	
第5章	明治期の学園風景	4-4	創立に携わった人々一学祖と創立者一	
			自己点検	
			導入	
		5-1	創立期の学園生活	
第6章	大学令と日本大学	5-2	山田顕義の死去と廃校問題	
		5-3	日本法律学校から日本大学へ	
			自己点検	
			導入	
第6章	大学令と日本大学	6-1	大学令の公布と日本大学	
		6-2	教育組織の整備拡充	
		6-3	関東大震災と復興への努力	
		6-4	日本大学と学生	
理解度チェック2				
第7章	戦時体制下の学徒		自己点検	○学修期間 7章～9章 5月15日～5月28日までに学修及び理解度チェック3を受けて下さい。 ○「理解度チェック3」 解答期限は5月28日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		7-1	報国団と勤労動員	
		7-2	学び舎からの出征	
第8章	第8章 高度経済成長と大学の 대중化		自己点検	
			導入	
		8-1	日本大学振興策の推進	
第9章	大学紛争とその後の日本大学	8-2	学生の動向	
			自己点検	
			導入	
第9章	大学紛争とその後の日本大学	9-1	日大紛争	
		9-2	紛争後の学園生活	
			自己点検	
理解度チェック3				
第10章	日本大学とスポーツ・文化活動		導入	○学修期間 10章～12章 5月29日～6月11日までに学修及び理解度チェック4を受けて下さい。 ○「理解度チェック4」 解答期限は6月11日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		10-1	日本大学と体育・スポーツ活動	
		10-2	特色ある日大スポーツ	
		10-3	日本大学と文化活動	
第11章	活躍する日大人		自己点検	
			導入	
		11-1	独学者に法曹の道を開いた澤野民治	
		11-2	歯科医学界の先覚者 佐藤運雄	
		11-3	日本航空界の父 木村秀政	
第12章	通信教育部の歩み	11-4	地球再発見による人間性の回復へ 写真家白川義員	
			自己点検	
			導入	
		12-1	明治・大正期の通信教育	
		12-2	通信教育部の創設	
第12章	通信教育部の歩み	12-3	通信教育の整備・拡充	
		12-4	おわりに	
			自己点検	
理解度チェック4				
試 験				○「試験」 レポート試験は6月12日～6月19日まで が、出題及び提出期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。
受講後アンケート				6月12日～6月23日がアンケート回答期間になります。
復習期間				試験終了後の6月20日～6月23日の間は全章の復習期間にしてください。

科目名	歴史学	開講単位数
担当講師名	高綱 博文・須江 隆・粕谷 元・郡司 美枝	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

	章番号	章名	項番号	項名	受講期間	
		表紙			○本講座は4つのパート、12章で構成されています。また、それぞれのパートには学修期間が設定されています。○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。	
郡司先生	導入(教員紹介)	講座概要説明 教員紹介		講座概要説明 教員紹介	○学修期間 1章～3章 4月16日～5月1日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。 ○「理解度チェック1」 解答期限は5月1日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
	1～3章導入			(導入)イントロダクション		
	第1章	明治天皇－国民の父として－				導入
				1-1		国民とともに
				1-2		青年天皇の維新
				1-3		皇帝として・国父として
				1-4		「国母」皇后とともに
	1-5	明治のおわりに				
	第2章	乃木希典 一戦没者家族の涙とともに－				導入
				2-1		殉死
				2-2		家族の恩愛を断ち切る
				2-3		旅順攻防戦のはてに
				2-4		日露戦後の日々
	2-5	軍神として				
第3章	石田伝吉－理想の村を求めて－			導入		
			3-1	農村改良の自給伝道者		
			3-2	明治20年代の若者		
			3-3	弱き人々への眼差し		
			3-4	『理想之村』		
3-5	「大御心」のうちに					
理解度チェック1						
澤井先生	4～6章導入			(導入)イントロダクション	○学修期間 4章～6章 5月2日～5月15日までに学修及び理解度チェック2を受けて下さい。 ○「理解度チェック2」 解答期限は5月15日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
	第4章	ムスタファ・ケマル・アタテュルク －トルコの「文明化」のために－				導入
				4-1		「永遠なる」指導者
				4-2		救国の英雄から国父へ
				4-3		世俗主義と文明化＝西洋化＝世俗化の論理
	4-4	トルコ共和国の西洋化・世俗化				
	第5章	ベディユザマン・サイド・ヌルスイー －世俗化に抗して－				導入
				5-1		オスマン帝国のイスラーム改革派知識人・活動家として
				5-2		世俗主義体制下でのヌルスイーと『リサーレイ・ヌル』
				5-3		『リサーレイ・ヌル』の思想
	5-4	死後の一つのエピソード				
	第6章	セイイド・ベイトルコの宗教改革？－				導入
				6-1		西洋近代の学問と思想に通じたイスラーム法学者
				6-2		カリフ制の廃止とセイイド・ベイ
6-3				「トルコ」イスラーム？		
6-4	世俗化とイスラームの相克					
理解度チェック2						
高綱先生	7～9章導入			(導入)イントロダクション	○学修期間 7章～9章 5月16日～5月29日までに学修及び理解度チェック3を受けて下さい。 ○「理解度チェック3」 解答期限は5月29日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
	第7章	岸田吟香・荒尾精－東亜同文書院の源流－				導入
				7-1		東亜同文書院とは
				7-2		日中間交流の先駆者・岸田吟香
				7-3		荒尾精と漢口楽善堂
	7-4	貿易立国論と日清貿易研究所				
	第8章	内山完造の中国社会体験				導入
				8-1		日中友好の架け橋－内山完造・みき
				8-2		内山完造の中国社会体験
				8-3		内山完造の中国社会論
	8-4	「上海人」としての内山完造				
	第9章	上海日本人引揚者たちのノスタルジー				導入
				9-1		上海引揚者たち
				9-2		引揚者の子供たちの上海ノスタルジー
9-3	上海ノスタルジーの流行					
理解度チェック3						
須江先生	10～12章導入			(導入)イントロダクション	○学修期間 10章～12章 5月30日～6月12日までに学修及び理解度チェック4を受けて下さい。 ○「理解度チェック4」 解答期限は6月12日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
	第10章	蘇舜欽－乱痴気騒ぎのつけ				(導入)蘇舜欽と進奏院
				10-1		事件の経緯
				10-2		事件の真相
				10-3		事件の原因
	10-4	宋代の官僚社会				
	第11章	方臘－宋王朝を震撼させた男				(導入)徽宗時代と方臘
				11-1		方臘の乱の経緯
				11-2		方臘の乱に関する言説
				11-3		方臘の乱に関する言説の分布
	11-4	北宋末期以降の社会				
	第12章	「林二十三娘－神となった巫女」				(導入)林二十三娘と中国史上の女性
				12-1		「マンション白紙 代わりに神様」
				12-2		「媽祖廟」とそのルーツ
12-3				「媽祖廟」信仰の拡大と展開		
12-4	祠廟と華人社会					
理解度チェック4						
試 験					○試験 レポート試験は6月13日～6月20日まで が、出題および提出期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。	
受講後アンケート					6月13日～6月23日がアンケート回答期間になります。	
復習期間					試験終了後の6月21日～6月23日の間は全章の復習期間にしてください。	

法学 MA メディア授業計画

科目名	法学MA	単位
担当 教員名	松島 雪江	2

章番号	章名	節番号	節名	受講期間
	表紙			○本講座は3つのパート、16章で構成されています。 また、それぞれのパートには学修期間が設定されています。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、 理解度チェック及び試験は解答期間を過ぎると解答ができなくなります ので十分注意してください。
第1章	なぜ法を学ぶのか	1節	主権者自らが学ぶ-治外法権に関する問題がある-	○学修期間 1章～5章 4月16日～5月3日までに学修及び理解度 チェック1を受けて下さい。 ○「理解度チェック1」 解答期間は5月3日まで です。これを過ぎると解答 ができなくなります。
		2節	法を育む方法 -「人間とは何か」を知る-	
		3節	-人間の成長と法律上の扱い、法育の取り組み-	
		4節	法学を学ぶ意味 -くり返し学ぶ価値-	
		5節	法学を学ぶ意義 -他の学問分野からも学ぶ-	
第2章	法と強制	1節	法の目的は何か	
		1節	法律は社会規範である	
		2節	行為規範について、法律と道徳が比較される	
		3節	法律は要件と効果からなる	
		4節	刑罰の特色を強制という点で捉える	
		5節	死刑存廃論の理論的究極	
		6節	伝統法学における4つの社会規範と「世間」との関係	
第3章	法と道徳	7節	「世間」は社会規範課	
		1節	法の目的	
		2節-1	社会規範としての法 その1	
		2節-2	社会規範としての法 その2	
第4章	法の歴史	3節	憲法問題	
		4節	法的制裁と道徳的制裁	
		1節	社会あるところに法あり、不文法・成文法ローマ・カノン法、法の継受	
		2節	近代法の成立	
第5章	法源	3節	日本における近代法の継受	
		4節	大日本帝国憲法から日本国憲法へ	
		1節-1	法源とは何かその1	
		1節-2	法源とは何かその2	
		2節-1	法源の種類と特徴 その1	
		2節-2	法源の種類と特徴 その2	
		2節-3	法源の種類と特徴 その3	
		2節-4	法源の種類と特徴 その4	
		2節-5	法源の種類と特徴 その5 法源論の問題点	
理解度チェック1				
第6章	法の構造	1節	様々な法(法と法律)、法の段階的構造、現代法学の諸分野	○学修期間 6章～10章 5月4日～5月17日までに学修及び理解度 チェック1を受けて下さい。 ○「理解度チェック2」 解答期間は5月17日まで です。これを過ぎると解 答ができなくなります。
		2節	法の分類(公法、私法、社会法)	
		3節-1	法の様態 その1	
		3節-2	法の様態 その2	
第7章	法の適用と解釈	4節	法の規範的役割	
		1節	予見(予測)可能性の確保と裁判システムへの信頼	
		2節-1	法の三段論法と事実認定 その1	
		2節-2	法の三段論法と事実認定 その2	
		3節-1	法の解釈 その1	
第8章	法の効力	3節-2	法の解釈 その2	
		1節	なぜ実定法と自然法の区別が必要か	
		2節	刑法学はなぜ自然法を探るか	
		3節	刑事手続き上の柔軟性	
		4節-1	刑法解釈の柔軟性 その1	
第9章	法的思考	4節-2	刑法解釈の柔軟性 その2	
		5節	遡及処罰の禁止	
		1節	法的な問題解決 裁判	
第10章	法の現代的展開	2節-1	「議論の場」としての裁判 その1	
		2節-2	「議論の場」としての裁判 その2	
		3節	法的思考を養うということ	
		1節-1	法の機能とその変容 その1	
		1節-2	法の機能とその変容 その2	
理解度チェック2				

第11章	生活の中の刑法	1節	自動車運転者の注意義務	
		2節	予見可能性と結果回避措置の関係	
		3節	犯罪論は国民に無理を要求しない	
		4節	相当因果関係の判断基準	
		5節	正当防衛の要件	
		6節	刑事未成年の基準	
		7節	国民は何を契機として「規範」を学ぶか	
		8節-1	判例の役割 - スワット事件 その1	
		8節-2	判例の役割 - スワット事件 その2	
		8節-3	判例の役割 - スワット事件 その3	
		9節-1	判例の役割 - 柔道始動時事件 その1	
9節-2	判例の役割 - 柔道始動時事件 その2			
第12章	法の担い手としての市民	1節	刑事司法における市民参加	○学修期間 11章～16章 5月18日～6月14日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。 ○「理解度チェック3」 解答期間は6月14日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		2節	告訴・告発と検察審査会	
		3節	裁判員裁判導入による効果	
		4節	裁判員裁判に関わる課題	
		5節	刑罰は厳しければよいのか刑罰の執行は被害者支援に役立つか	
		6節	死刑が冤罪をつくる	
		7節	紛争回避方策を利用しない国民がいる遺言の方式と効能	
		8節	民主主義は国家機関が異なる見解を示すことを認める	
第13章	民法典の形成と特色	1節	民法の歴史日本の「六法」の形成	
		2節	民法の歴史ボアソナードの活躍と旧民法の編纂	
		3節	民法の歴史日本版法典論争	
		4節	民法の歴史現行民法典の起草	
		5節-1	民法(財産法)の基本原則民法(財産法)の基本原則 その1	
		5節-2	民法(財産法)の基本原則民法(財産法)の基本原則 その2	
		5節-3	民法(財産法)の基本原則民法(財産法)の基本原則 その3	
6節	民法(財産法)の基本原則 民法の基本原則の修正			
第14章	権利・義務と民法における人間	1節	権利義務の意味とその生成	
		2節-1	民法上の権利義務の担い手-自然人 法人-	
		2節-2	判断能力のない者、不十分な者がした行為の効力-意思能力-	
		2節-3	判断能力のない者、不十分な者がした行為の効力-行為能力-	
		2節-4	判断能力のない者、不十分な者がした行為の効力-未成年-	
		3節-1	判断能力のない者、不十分な者がした行為の効力 成年後見制度 その1	
		3節-2	判断能力のない者、不十分な者がした行為の効力 成年後見制度 その2	
3節-3	判断能力のない者、不十分な者がした行為の効力 成年後見制度 その3			
第15章	生活の中の憲法	1節	憲法とは基本的人権とは	
		2節-1	基本的人権の享有主体 その1	
		2節-2	基本的人権の享有主体 その2	
		3節	基本的人権と会社関係	
		4節	基本的人権と学校関係	
第16章	番外編 答案の作成技術	1節	法学の答案の目標をどこに置くか	
		2節	日本語として正しく	
		3節	設問に取り組む	
		4節	一行問題と事例問題	
		5節	自分の考えを持つ心がけ主張の根拠を示す	
		6節	安楽死は多面的に捉えるべき	
		7節	法のあるべき姿を求めて	
理解度チェック3				
試験				○「試験」 レポート試験は6月15日から6月22日まで が、出題及び提出期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。
受講後アンケート				6月15日～6月23日がアンケート回答期間になります。
復習期間				試験終了後の6月23日は全章の復習期間にしてください。

科目名	政治学	開講単位数
担当講師名	関根 二三夫	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	項番号	項名	受講期間
	表紙		表紙	<p>○本講座は4つのパートに分かれており、それぞれのパートは3つの章で構成されています。 また、それぞれのパートには学修期間が設定されています。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。</p> <p>○学修期間 1章～3章 4月16日～5月2日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。</p> <p>○「理解度チェック1」 解答期限は5月2日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。</p>
第1章	政治学の変遷		(導入)政治学の変遷	
		1-1	古代	
		1-2	中世	
		1-3	近世	
		1-4	近代	
		1-5	第1章 自己点検	
第2章	政治の概念と本質		(導入)政治の概念と本質	
		2-1	政治の概念	
		2-2	政治の本質	
		2-3	第2章 自己点検	
第3章	政治権力		(導入)政治権力	
		3-1	政治権力の概念	
		3-2	政治権力の構造	
		3-3	権力の客体(被治者)	
		3-4	支配の手段	
		3-5	支配の形態	
		3-6	第3章 自己点検	
理解度チェック1				
第4章	国家		(導入)国家	
		4-1	国家の概念	
		4-2	国家の成立要素	
		4-3	国家の分類	
		4-4	第4章 自己点検	
第5章	議会政治		(導入)議会政治	
		5-1	議会政治の原理	
		5-2	行政監督の手段	
		5-3	議会の構成 - 一院制 -	
		5-4	議会の構成 - 二院制 -	
		5-5	第5章 自己点検	
第6章	立法府と行政府		(導入)立法府と行政府	
		6-1	議院内閣制の形態と特徴	
		6-2	大統領制	
		6-3	アメリカ合衆国の大統領制	
		6-4	第6章 自己点検	
理解度チェック2				
第7章	選挙		(導入)選挙	
		7-1	選挙とは	
		7-2	選挙制度について	
		7-3	選挙の種類	
		7-4	第7章 自己点検	
第8章	選挙区の画定と代表		(導入)選挙区の画定と代表	
		8-1	選挙区の画定	
		8-2	選挙区制について	
		8-3	代表選出の形態	
		8-4	第8章 自己点検	
第9章	政党		(導入)政党	
		9-1	政党の誕生	
		9-2	政党の概念と特徴	
		9-3	政党の発展過程	
		9-4	政党の分類	
		9-5	第9章 自己点検	
理解度チェック3				
第10章	政党の機能と問題点		(導入)政党の機能と問題点	
		10-1	政党の機能	
		10-2	政党の問題点	
		10-3	第10章 自己点検	
第11章	圧力団体		(導入)圧力団体	
		11-1	圧力団体の概念	
		11-2	圧力団体の発生	
		11-3	圧力団体の活動	
		11-4	第11章 自己点検	
第12章	政治と行政		(導入)政治と行政	
		12-1	政治と行政との関係	
		12-2	資本主義の発達と大衆社会との関係	
		12-3	議会政治の変転と行政国家	
		12-4	政治と行政との関係 - アメリカの例 -	
		12-5	政治・行政関連論	
		12-6	第12章 自己点検	
理解度チェック4				
試 験				<p>○試験 レポート試験は6月14日～6月21日までが、出題および提出期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。</p>
受講後アンケート				6月14日～6月23日がアンケート回答期間になります。
復習期間				試験終了後の6月22日～6月23日の間は全章の復習期間にしてください。

科目名	経済学	開講単位数
担当講師名	田村 和彦	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	項番号	項名	受講期間	
	表紙			○本講座は4つのパート、12章で構成されています。また、それぞれのパートには学修期間が設定されています。○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。	
第1章	経済学とは何か		講義内容説明	○学修期間 1章～3章 4月16日～4月30日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。 ○「理解度チェック1」 解答期限は4月30日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		1-1	導入		
		1-2	経済学とはどのような学問か		
		1-3	経済現象と稀少性の法則		
第2章	経済学の研究の進め方		導入		
		2-1	経済学の方法		
		2-2	経済学の分野		
第3章	資本主義経済と社会主義経済		導入		
		3-1	資本主義経済と社会主義経済		
		3-2	混合経済(修正資本主義)		
理解度チェック1					
第4章	消費者の行動基準		導入		○学修期間 4章～6章 5月1日～5月14日までに学修及び理解度チェック2を受けて下さい。 ○「理解度チェック2」 解答期限は5月14日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		4-1	財の効用(主観的評価)について		
		4-2	限界効用均等の法則と選択行動		
第5章	無差別曲線と消費者余剰の法則		導入		
		5-1	消費と代替		
		5-2	限界効用と価格の決定および消費者余剰の法則		
第6章	所得・価格と需要変化の関係		導入		
		6-1	消費性向・貯蓄性向		
		6-2	消費と需要の価格弾力性		
理解度チェック2					
第7章	財の所得効果・代替効果		導入	○学修期間 7章～9章 5月15日～5月28日までに学修及び理解度チェック3を受けて下さい。 ○「理解度チェック3」 解答期限は5月28日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		7-1	財の価格変化と所得効果、代替効果		
		7-2	依存効果		
第8章	生産函数		導入		
		8-1	生産者行動とその基準		
		8-2	生産函数		
第9章	等量曲線・生産費の理論		導入		
		9-1	等量曲線		
		9-2	生産費の理論		
理解度チェック3					
第10章	平均費用・限界費用と最適生産量		導入		○学修期間 10章～12章 5月29日～6月11日までに学修及び理解度チェック4を受けて下さい。 ○「理解度チェック4」 解答期限は6月11日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		10-1	短期		
		10-2	長期		
第11章	生産者余剰と限界生産力均等の法則		導入		
		11-1	生産者余剰		
		11-2	限界生産力均等の法則		
第12章	最大利潤と個別供給曲線		導入		
		12-1	最大利潤		
		12-2	個別供給曲線・社会的供給曲線		
理解度チェック4					
試 験				○試験 レポート試験は6月12日～6月19日まで が、出題および提出期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。	
受講後アンケート				6月12日～6月23日がアンケート回答期間になります。	
復習期間				試験終了後の6月20日～6月23日は全章の復習期間にしてください。	

科目名	心理学	開講単位数
担当講師名	池見 正剛	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間
	表紙			○本講座は3つのパート、12章で構成されています。また、それぞれのパートには学修期間が設定されています。○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。
第1章	心理学の定義と歴史		導入	○学修期間 1章～3章 4月16日～4月30日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。 ○「理解度チェック1」 解答期限は4月30日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		1-1	心理学の定義	
		1-2	心理学の歴史	
			自己点検	
第2章	現代心理学のアプローチ		導入	
		2-1	科学的方法とは	
		2-2	自然観察	
		2-3	調査	
		2-4	相関的研究	
		2-5	実験(因果関係)	
第3章	心の生物学的基礎		自己点検	
			導入	
		3-1	神経細胞	
		3-2	中枢神経系	
			自己点検	
理解度チェック1				
第4章	感覚 I		導入	○学修期間 4章～7章 5月1日～5月14日までに学修及び理解度チェック2を受けて下さい。 ○「理解度チェック2」 解答期限は5月14日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		4-1	感覚様相の共通属性	
		4-2	感度を測る方法と実際	
		4-3	感覚符号化と符号化の方法	
		4-4	視覚	
第5章	感覚 II		自己点検	
		5-1	聴覚	
		5-2	嗅覚	
		5-3	味覚	
		5-4	触覚	
第6章	知覚 I		自己点検	
			導入	
		6-1	知覚とは何か	
		6-2	注意	
第7章	知覚 II	6-3	知覚的体制化と定位	
			自己点検	
		7-1	認識	
		7-2	抽象化	
		7-3	知覚の恒常性	
			自己点検	
理解度チェック2				
第8章	発達		導入	○学修期間 8章～12章 5月15日～6月11日までに学修及び理解度チェック3を受けて下さい。 ○「理解度チェック3」 解答期限は6月11日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		8-1	発達とは何か	
		8-2	発達の一般的特徴	
		8-3	身体の発達	
		8-4	運動機能の発達	
		8-5	新生児の発達	
		8-6	ピアジェの発達段階理論	
		8-7	人格と社会性の発達	
		8-8	青年期の心理	
			自己点検	
第9章	記憶 I		導入	
		9-1	記憶を考える上での3つの視点	
		9-2	感覚記憶	
		9-3	作業記憶	
第10章	記憶 II		自己点検	
		10-1	作業記憶から長期記憶への情報の転送	
		10-2	長期記憶	
		10-3	感情と記憶	
		10-4	潜在記憶	
		10-5	多様な記憶機構	
第11章	知識の表象(1)－知覚的表現－		自己点検	
			導入	
		11-1	空間的表象vs.順序的表象	
		11-2	メンタルイメージ	
第12章	知識の表象(2)－意味的表現－	11-3	順序的表象	
			自己点検	
			導入	
		12-1	言語的情報の記憶	
		12-2	知覚的・意味的表象の保持	
		12-3	命題的表象	
		12-4	スキーマ	
			自己点検	
理解度チェック3				
試験				○「試験」 試験は6月12日～6月19日まで が、出題及び提出期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。
受講後アンケート				6月12日～6月23日がアンケート回答期間になります。
復習期間				試験終了後の6月20日～6月23日は全章の復習期間にしてください。

科目名	英語 I	開講単位数
担当講師名	猪野 恵也	1

※理解度チェック(報告課題)及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	項番号	項名	受講期間
	表紙			○本講座は2つのパート、12章で構成されています。また、それぞれのパートには学修期間が設定されています。○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、 報告課題は期限を過ぎると解答ができなくなります ので十分注意してください。
Part1	品詞及び句と節		導入	○学修期間 1章～6章 4月16日～5月15日までに学修及び報告課題1を受けて下さい。 ○「報告課題1」 解答期限は5月15日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		1-1	文法 品詞	
		1-2	文法 句と節	
Part2	文型		導入	
		2-1	文法 第1文型	
		2-2	文法 第2文型	
		2-3	文法 第3文型	
		2-4	文法 第4文型	
2-5	文法 第5文型			
Part3	不定詞と動名詞		導入	
		3-1	文法 不定詞の用法	
		3-2	文法 動名詞の用法	
Part4	分詞		導入	
		4-1	文法 現在分詞と過去分詞	
Part5	分詞構文		導入	
		5-1	文法 分詞構文の用法	
Part6	関係詞		導入	
		6-1	文法 関係代名詞	
		6-2	文法 関係副詞	
報告課題1				
Part7	GOODBYE,MY BROTHER(1)		導入	○学修期間 7章～12章 5月16日～6月20日までに学修及び報告課題2を受けて下さい。 ○「報告課題2」 解答期限は6月20日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		7-1	読解 Paragraph1	
		7-2	読解 Paragraph2	
		7-3	読解 Paragraph3	
		7-4	読解 Paragraph4	
		7-5	読解 Paragraph5	
		7-6	読解 Paragraph6	
		7-7	読解 Paragraph7	
		7-8	読解 Paragraph8	
		7-9	読解 Paragraph9	
Part8	GOODBYE,MY BROTHER(2)		導入	
		8-1	読解 Paragraph1	
		8-2	読解 Paragraph2	
		8-3	読解 Paragraph3	
		8-4	読解 Paragraph4	
		8-5	読解 Paragraph5	
		8-6	読解 Paragraph6	
		8-7	読解 Paragraph7	
8-8	読解 Paragraph8			
Part9	GOODBYE,MY BROTHER(3)		導入	
		9-1	読解 Paragraph1	
		9-2	読解 Paragraph2	
		9-3	読解 Paragraph3	
		9-4	読解 Paragraph4	
		9-5	読解 Paragraph5	
		9-6	読解 Paragraph6	
		9-7	読解 Paragraph7	
9-8	読解 Paragraph8			
Part10	GOODBYE,MY BROTHER(4)		導入	
		10-1	読解 Paragraph1	
		10-2	読解 Paragraph2	
		10-3	読解 Paragraph3	
		10-4	読解 Paragraph4	
		10-5	読解 Paragraph5	
		10-6	読解 Paragraph6	
		10-7	読解 Paragraph7	
		10-8	読解 Paragraph8	
		10-9	読解 Paragraph9	
		10-10	読解 Paragraph10	
		10-11	読解 Paragraph11	
10-12	読解 Paragraph12			
Part11	GOODBYE,MY BROTHER(5)		導入	
		11-1	読解 Paragraph1	
		11-2	読解 Paragraph2	
		11-3	読解 Paragraph3	
		11-4	読解 Paragraph4	
		11-5	読解 Paragraph5	
11-6	読解 Paragraph6			
Part12	GOODBYE,MY BROTHER(6)		導入	
		12-1	読解 Paragraph1	
		12-2	読解 Paragraph2	
		12-3	読解 Paragraph3	
		12-4	読解 Paragraph4	
		12-5	読解 Paragraph5	
		12-6	読解 Paragraph6	
		12-7	読解 Paragraph7	
12-8	読解 Paragraph8			
報告課題2				
受講後アンケート				5月16日～6月23日がアンケート回答期間になります。
復習期間				6月21日～6月23日の間は全章の復習期間にしてください。

科目名	英語Ⅱ	開講単位数
担当講師名	鈴木 孝	1

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間
	表紙			○本講座は4つのパート、12章で構成されています。また、それぞれのパートには学修期間が設定されています。○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。
第1章	テキスト 1ページ目から2ページ6行目まで		導入	○学修期間 1章～4章 4月16日～5月2日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。 ○「理解度チェック1」 解答期限は5月2日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		1-1	関係代名詞・他	
		1-2	前置詞+関係代名詞・他	
		1-3	受動態・他	
		1-4	分詞の用法・他	
	自己点検			
第2章	テキスト 2ページ7行目から3ページ11行目まで		導入	
		2-1	It の用法・他	
		2-2	前置詞と接続詞・他	
		2-3	等位接続詞・他	
		2-4	分詞の用法・他	
	自己点検			
第3章	テキスト 3ページ12行目から4ページ6行目まで		導入	
		3-1	省略・他	
		3-2	自動詞と他動詞・他	
		3-3	It の用法・他	
		3-4	強調構文・他	
	自己点検			
第4章	テキスト 4ページ7行目から5ページ11行目まで		導入	
		4-1	分詞の用法・他	
		4-2	挿入句・他	
		4-3	to 原型動詞の用法・他	
		4-4	等位接続詞・他	
	自己点検			
理解度チェック1				
第5章	テキスト 5ページ12行目から6ページ25行目まで		導入	○学修期間 5章～7章 5月3日～5月16日までに学修及び理解度チェック2を受けて下さい。 ○「理解度チェック2」 解答期限は5月16日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		5-1	関係代名詞・他	
		5-2	従属接続詞・他	
		5-3	知覚動詞・他	
		5-4	強調構文・他	
	自己点検			
第6章	テキスト 6ページ26行目から8ページ4行目まで		導入	
		6-1	関係代名詞・他	
		6-2	分詞の用法・他	
		6-3	使役動詞・他	
		6-4	修辭疑問文・他	
	自己点検			
第7章	テキスト 8ページ5行目から9ページ13行目まで		導入	
		7-1	形容詞句と副詞句・他	
		7-2	whatの用法・他	
		7-3	動名詞・他	
		7-4	to 原型動詞の用法・他	
	自己点検			
理解度チェック2				
第8章	テキスト 9ページ14行目から10ページ26行目まで		導入	○学修期間 8章～10章 5月17日～5月30日までに学修及び理解度チェック3を受けて下さい。 ○「理解度チェック3」 解答期限は5月30日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		8-1	関係代名詞・他	
		8-2	to 原型動詞の用法	
		8-3	分詞の用法・他	
		8-4	等位接続詞・他	
	自己点検			
第9章	テキスト 11ページ1行目から12ページ2行目まで		導入	
		9-1	時制・他	
		9-2	be 動詞の進行形・他	
		9-3	挿入句・他	
		9-4	to 原型動詞の用法	
	自己点検			
第10章	テキスト 12ページ3行目から13ページ13行目まで		導入	
		10-1	等位接続詞・他	
		10-2	分詞の用法・他	
		10-3	自動詞と他動詞・他	
		10-4	関係代名詞・他	
	自己点検			
理解度チェック3				
第11章	テキスト 13ページ14行目から14ページ27行目まで		導入	○学修期間 11章～12章 5月31日～6月13日までに学修及び理解度チェック4を受けて下さい。 ○「理解度チェック4」 解答期限は6月13日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		11-1	It の用法・他	
		11-2	分詞の用法・他	
		11-3	分詞の用法・他	
		11-4	関係代名詞・他	
	自己点検			
第12章	テキスト 14ページ28行目から16ページ3行目まで		導入	
		12-1	知覚動詞・他	
		12-2	受動態・他	
		12-3	関係副詞・他	
		12-4	動名詞・他	
	自己点検			
理解度チェック4				
試 験				○「試験」 レポート試験は6月14日～6月21日までが、出題及び提出期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。
受講後アンケート				6月14日～6月23日がアンケート回答期間になります。
復習期間				試験終了後の6月22日～6月23日の間は全章の復習期間にしてください。

科目名	英語Ⅲ	開講単位数
担当講師名	真野 一雄	1

※理解度チェック(報告課題)及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	項番号	項名	受講期間
	表紙			○本講座は2つのパート、12章で構成されています。 また、それぞれのパートには学修期間が設定されています。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、報告課題は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。
Part1	FORGETTING(1)		導入	○学修期間 1章～6章 4月16日～5月16日までに学修及び報告課題1を受けて下さい。 ○「報告課題1」 解答期限は5月16日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		1-1	読解	
Part2	FORGETTING(2)		導入	
		2-1	読解	
Part3	FORGETTING(3)		導入	
		3-1	読解	
Part4	FORGETTING(4)		導入	
		4-1	読解	
Part5	FORGETTING(5)		導入	
		5-1	読解	
Part6	FORGETTING(6)		導入	
		6-1	読解	
報告課題1				
Part7	KNOWLEDGE AND WISDOM(1)		導入	○学修期間 7章～12章 5月17日～6月21日までに学修及び報告課題2を受けて下さい。 ○「報告課題2」 解答期限は6月21日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		7-1	読解	
Part8	KNOWLEDGE AND WISDOM(2)		導入	
		8-1	読解	
Part9	KNOWLEDGE AND WISDOM(3)		導入	
		9-1	読解	
Part10	KNOWLEDGE AND WISDOM(4)		導入	
		10-1	読解	
Part11	KNOWLEDGE AND WISDOM(5)		導入	
		11-1	読解	
Part12	KNOWLEDGE AND WISDOM(6)		導入	
		12-1	読解	
報告課題2				
受講後アンケート				5月17日～6月23日がアンケート回答期間になります。
復習期間				試験終了後の6月22日～6月23日の間は全章の復習期間にしてください。

科目名	英語IV	開講単位数
担当講師名	市川 泰弘	1

※理解度チェック(報告課題)及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間
	表紙			○本講座は2つのパート、12章で構成されています。また、それぞれのパートには学修期間が設定されています。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、報告課題は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。
第1章	Making Friends at College(1)		導入	○学修期間 1章～6章 4月16日～5月14日までに学修及び報告課題1を受けて下さい。 ○「報告課題1」 解答期限は5月14日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		1-1	基本的な動詞の使い方[1]	
第2章	Making Friends at College(2)	2-1	パラグラフの基本	
第3章	My Frantic Day(1)		導入	
		3-1	基本的な動詞の使い方[2]	
第4章	My Frantic Day(2)	4-1	時間軸でパラグラフを構成する	
第5章	Time Is Not Money(1)		導入	○学修期間 7章～12章 5月15日～6月19日までに学修及び報告課題2を受けて下さい。 ○「報告課題2」 解答期限は6月19日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		5-1	動詞+名詞句の使い方[1]	
第6章	Time Is Not Money(2)	6-1	重要度の順でパラグラフを構成する	
報告課題1				
第7章	Tokyo Disney Resort(1)		導入	○学修期間 7章～12章 5月15日～6月19日までに学修及び報告課題2を受けて下さい。 ○「報告課題2」 解答期限は6月19日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		7-1	動詞+名詞句の使い方[2]	
第8章	Tokyo Disney Resort(2)	8-1	空間秩序でパラグラフを構成する	
第9章	Overseas Travel(1)		導入	
		9-1	間違いやすい動詞の使い方[1]	
第10章	Overseas Travel(2)	10-1	メインアイデアを補う:個人的な経験を利用する	
第11章	Sugar Blamed for Increased Obesity Worldwide(1)		導入	○学修期間 5月15日～6月23日がアンケート回答期間になります。
		11-1	間違いやすい動詞の使い方[2]	
第12章	Sugar Blamed for Increased Obesity Worldwide(2)	12-1	メインアイデアを補う:事実と引用を利用する	6月20日から6月23日は全章の復習期間にしてください。
報告課題2				
受講後アンケート				
復習期間				

科目名	英語基礎	開講単位数
担当講師名	小澤 賢司	1

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間
				<p>○本講座は3つのパート、15章で構成されています。また、それぞれのパートには学修期間が設定されています。</p> <p>○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。</p>
第1章	「品詞」と「文法」	1	受講上の注意点／「品詞」と「文法」	<p>○学修期間 1章～5章 4月16日～5月3日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。</p> <p>○「理解度チェック1」 解答期限は5月3日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。</p>
		2	中highで習う品詞&文法／『4大品詞』	
		3	「形容詞」と「副詞」	
		4	まとめ／Questions and Answers (1)	
第2章	動名詞	1	「動名詞」とは	
		2	具体例	
		3	「動名詞」が含まれる熟語	
		4	英文読解(Sushi)／英文法に対する注意点	
第3章	前置詞	1	「前置詞」とは	
		2	場所を表す「前置詞」と時を表す「前置詞」	
		3	「前置詞」が備えているイメージ	
		4	まとめ	
第4章	不定詞 その1	1	「不定詞」とは(日本語にない品詞を学ぶときの意識)	
		2	〈名詞的用法〉	
		3	訳にとられないように!	
		4	「不定詞」vs.「動名詞」	
		5	Questions and Answers (2)	
第5章	不定詞 その2	1	〈形容詞的用法〉	
		2	〈副詞的用法〉	
		3	「不定詞」まとめ	
		4	英文読解(Dream 1)／英文読解(Dream 2)	
		5	英文読解(Dream 3)	
理解度チェック1				
第6章	辞書に関するあの話この話	1	(紙の)辞書と電子辞書／おすすめの辞書	<p>○学修期間 6章～10章 5月4日～5月31日までに学修及び理解度チェック2を受けて下さい。</p> <p>○「理解度チェック2」 解答期限は5月31日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。</p>
		2	「あたり」を付けて調べる!	
		3	実践(1)	
		4	実践(2)	
		5	実践(3)	
第7章	分詞	1	「分詞」とは	
		2	具体例	
		3	「分詞」の注意点	
		4	「分詞」の選択	
第8章	動名詞 vs. 現在分詞	1	見た目が同じ「動名詞」と「分詞」	
		2	出現位置から判断する!	
		3	意味から判断する!	
		4	英文読解(English in Japan)	
第9章	不定詞の応用	1	応用(1)(It is ... to do)	
		2	応用(2)(疑問詞+to do)	
		3	応用(3)(tell/ask/want 人 to do)	
		4	応用(4)(too ... to do)	
		5	英文読解(I know ...)／英文読解(Don't waste ...)	
		6	Questions and Answers (3)	
第10章	発音に関するあの話この話	1	「カタカナ」英語をやめよう!	
		2	どうすれば良いのか	
		3	練習	
		4	ローマ字表記には気をつけよう!	
理解度チェック2				
第11章	接続詞	1	「等位接続詞」と「従位接続詞」	<p>○学修期間 11章～15章 6月1日～6月14日までに学修及び理解度チェック3を受けて下さい。</p> <p>○「理解度チェック3」 解答期限は6月14日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。</p>
		2	「等位接続詞」	
		3	「従位接続詞」(1)	
		4	「従位接続詞」(2)	
		5	命令文とand/or/時・条件の接続詞/時制の一致	
第12章	関係代名詞 その1	1	「関係代名詞」とは	
		2	「関係代名詞」の使い方・ポイント	
		3	主格・所有格・目的格の「関係代名詞」	
		4	「関係代名詞」の選択/「関係代名詞that」	
第13章	関係代名詞 その2	1	「関係代名詞」の修飾範囲	
		2	具体例	
		3	前回の練習問題解答	
		4	省略可能な「関係代名詞」	
		5	〈名詞修飾〉を使いこなそう!	
第14章	助動詞	1	「助動詞」とは/〈元来の意味〉と〈派生した意味〉	
		2	Will	
		3	Can/過去形には注意せよ!	
		4	May	
		5	Must/Should	
第15章	英語を使おう!	1	インターネットを利用して英語を使ってみよう!	
		2	利用するサイトの説明(1)	
		3	利用するサイトの説明(2)	
		4	利用するサイトの説明(3)	
		5	利用するサイトの説明(4)	
理解度チェック3				
試験				<p>○「試験」 試験は6月15日～6月22日までが、出題及び提出期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。</p> <p>○試験解答回数 解答期間内であれば何度でも解答可能です。 ただし、最後に解答したものを有効な解答として受理します。</p>
受講後アンケート				6月15日～6月23日がアンケート回答期間になります。
復習期間				試験終了後の6月22日～6月23日は全章の復習期間にしてください。

科目名	憲法	開講単位数
担当講師名	名雪 健二	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	項番号	項名	受講期間	
	表紙			○本講座は4つのパート、12章で構成されています。また、それぞれのパートには学修期間が設定されています。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。 ○学修期間 1章～4章 4月16日～4月30日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。 ○「理解度チェック1」 解答期限は4月30日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。	
第1章	憲法		導入		
		1-1	憲法の内容		
		1-2	憲法の分類		
		1-3	憲法の特徴		
第2章	日本憲法史—1		導入		
		2-1	明治憲法の成立		
		2-2	明治憲法の構造と特色		
第3章	日本憲法史—2		導入		
		3-1	ポツダム宣言の受諾		
		3-2	日本国憲法制定の経過		
		3-3	日本国憲法制定の法理		
第4章	日本国憲法の基本原理		導入		
		4-1	日本国憲法の前文		
		4-2	日本国憲法の基本原理		
理解度チェック1					
第5章	天皇—1		導入	○学修期間 5章～6章 5月1日～5月14日までに学修及び理解度チェック2を受けて下さい。 ○「理解度チェック2」 解答期限は5月14日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		5-1	天皇の地位		
第6章	天皇—2		導入		
		6-1	皇位継承		
		6-2	天皇の権能		
		6-3	皇室の経済		
理解度チェック2					
第7章	基本的人権—1		導入		○学修期間 7章～9章 5月15日～5月28日までに学修及び理解度チェック3を受けて下さい。 ○「理解度チェック3」 解答期限は5月28日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
	7-1	人権総論			
第8章	基本的人権—2		導入		
	8-1	法の下での平等			
第9章	基本的人権—3		導入		
	9-1	精神的自由			
理解度チェック3					
第10章	基本的人権—4		導入	○学修期間 10章～12章 5月29日～6月11日までに学修及び理解度チェック4を受けて下さい。 ○「理解度チェック4」 解答期限は6月11日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		10-1	経済的自由		
		10-2	人身の自由		
第11章	基本的人権—5		導入		
		11-1	社会権		
第12章	基本的人権—6		導入		
		12-1	国務請求権		
		12-2	参政権		
		12-3	国民の義務		
理解度チェック4					
試 験					○試験 リポート試験は6月12日～6月19日までが、出題および提出期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。
受講後アンケート					6月12日～6月23日がアンケート回答期間になります。
復習期間				試験終了後の6月20日～6月23日の間は全章の復習期間にしてください。	

科目名	民法 I	開講単位数
担当講師名	根本 晋一	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間	
	表紙			○本講座は3つのパート、12章で構成されています。また、それぞれのパートには学修期間が設定されています。○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。	
第1章	民法学習の前提		導入 —社会生活と法—	○学修期間 1章～5章 4月16日～5月17日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。 ○「理解度チェック1」 解答期限は5月17日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		1-1	法の役割 —自力救済の禁止・紛争解決規範・行為規範・裁判規範など—		
		1-2	法の分類① —公法—		
		1-3	法の分類② —私法—		
		1-4	法的思考力と法的思考過程 —リーガルマインドと法的三段論法・法の解釈と適用など—		
		自己点検			
第2章	民法の全体像		導入 —民法のかたち—		
		2-1	民法の歴史と沿革		
		2-2	民法の構成 —財産法と家族法・民法典と広義の民法—		
		2-3	民法の適用範囲 —民法と商法—		
		2-4	民法の指導原理		
		自己点検			
第3章	民法総則の全体像		導入 —民法総則のかたち—		
		3-1	民法解釈の修正原理 —一般条項—		
		3-2	私権の享有主体① —自然人と法人の権利能力と行為能力・制限行為能力者制度—		
		3-3	私権の享有主体② —自然人と法人の権利能力と行為能力・制限行為能力者制度—		
		3-4	住所・居所・不在者財産管理制度・失踪宣告		
		3-5	同時死亡の推定		
		3-6	法人制度		
		3-7	私権の客体 —物の概念—		
		3-8	法律行為 —私権の概念・法律行為と意思表示・代理制度・無効と取消・法律行為の付款など—		
		3-9	期間計算		
3-10	時効制度 —時効制度の存在理由・取得時効と消滅時効—				
		自己点検			
第4章	私権		導入 —私権の種類—		
		4-1	私権の分類方法① —権利の「内容」に着目した分類—		
		4-2	私権の分類方法② —財産権と非財産権—		
		4-3	私権の分類方法③ —権利の「作用」に着目した分類—		
		4-4	私権の分類方法④ —支配権・請求権・形成権・抗弁権—		
		4-5	私権の分類方法⑤ —支配権・請求権・形成権・抗弁権—		
		4-6	私権の分類方法⑥ —支配権・請求権・形成権・抗弁権—		
		自己点検			
第5章	私権行使の一般的制約原理		導入 —私権行使の限界—		
		5-1	私権行使の制約原理としての一般条項 —民法第1条の意義—		
		5-2	一般条項の解釈論的位置付		
		5-3	一般条項の解釈① —民法第1条第1項・第2項・第3項について—		
		5-4	一般条項の解釈② —民法第1条第1項・第2項・第3項について—		
		5-5	一般条項の解釈③ —民法第1条第1項・第2項・第3項について—		
5-6	一般条項の解釈④ —民法第1条第1項・第2項・第3項について—				
		自己点検			
理解度チェック1					
第6章	私権の主体と客体(1)		導入 —私権を行使する主体と、私権行使の目的たる客体—	○学修期間 6章～10章 5月18日～5月31日までに学修及び理解度チェック2を受けて下さい。 ○「理解度チェック2」 解答期限は5月31日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		6-1	私権の享有主体① —権利能力・自然人と法人・不在者財産管理制度・失踪宣告・同時死亡の推定など—		
		6-2	私権の享有主体② —権利能力・自然人と法人・不在者財産管理制度・失踪宣告・同時死亡の推定など—		
		6-3	私権の享有主体③ —権利能力・自然人と法人・不在者財産管理制度・失踪宣告・同時死亡の推定など—		
		6-4	私権の享有主体④ —権利能力・自然人と法人・不在者財産管理制度・失踪宣告・同時死亡の推定など—		
		6-5	私権の享有主体⑤ —権利能力・自然人と法人・不在者財産管理制度・失踪宣告・同時死亡の推定など—		
		自己点検			
第7章	私権の主体と客体(2)	7-1	私権の享有主体⑥ —行為能力・制限行為能力者制度など—		
		7-2	私権の享有主体⑦ —法人の種類・法人の権利能力と行為能力および不法行為能力など—		
		7-3	私権の客体 —物の概念—		
		自己点検			
第8章	法律行為(1)		導入 —法律行為—		
		8-1	法律行為の意義 —意思表示を要素とする私法上の法律要件—		
		8-2	法律行為の種類 —単独行為・契約・合同行為—		
		8-3	法律行為と意思表示・意思表示の解釈 —意思主義と表示主義—		
		8-4	法律行為の成立要件		
8-5	法律行為の「内容」にかかわる有効要件 —一般的有効要件・公序良俗に違反する法律行為の効力など—				
		自己点検			
第9章	法律行為(2)	9-1	法律行為の「当事者」にかかわる有効要件① —意思の不存在—		
		9-2	法律行為の「当事者」にかかわる有効要件② —心裡留保—		
		9-3	法律行為の「当事者」にかかわる有効要件③ —通謀虚偽表示—		
		9-4	法律行為の「当事者」にかかわる有効要件④ —錯誤—		
		自己点検			
第10章	法律行為(3)・期間計算	10-1	法律行為の「当事者」にかかわる有効要件⑤ —瑕疵ある意思表示・詐欺と強迫—		
		10-2	法律行為の無効と取消		
		10-3	法律行為の効力発生要件 —条件と期限—		
		10-4	期間計算		
		自己点検			
理解度チェック2					
第11章	法律行為(4)	11-1	法律行為の効果帰属要件① —私的自治の補充と拡大としての代理制度・代理の概念—	○学修期間 11章～12章 6月1日～6月14日までに学修及び理解度チェック3を受けて下さい。 ○「理解度チェック3」 解答期限は6月14日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		11-2	法律行為の効果帰属要件② —代理の三面関係・代理権の発生原因・復代理・自己契約と双方代理・無権代理と表見代理など—		
		11-3	法律行為の効果帰属要件③ —代理の三面関係・代理権の発生原因・復代理・自己契約と双方代理・無権代理と表見代理など—		
		自己点検			
第12章	時効制度		導入 —時効制度—		
		12-1	時効制度の存在理由		
		12-2	取得時効		
		12-3	消滅時効		
		自己点検			
理解度チェック3					
試験					○「試験」 レポート試験は6月15日から6月22日までが、出題及び提出期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。
受講後アンケート					6月15日～6月23日がアンケート回答期間になります。
復習期間				試験終了後の6月23日は全章の復習期間にしてください。	

科目名	民法Ⅱ	開講単位数
担当講師名	山川 一陽	2

※理解度チェック及び試験の提出期限・回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間	
	表紙			○本講座は3つのパート、15章で構成されています。また、それぞれのパートには学修期間が設定されています。○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。	
	講義用ディスカッションボード				
第1章	物権法を学ぶにあたって—民法とはどのような法律か—	1-1	物権法を学ぶ	○学修期間 1章～4章 4月16日～5月3日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。 ○「理解度チェック1」 解答期限は5月3日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		1-2	民法典はどのような構成となっているのか		
		1-3	受講に際して		
第2章	物権法総論① —序説—	2-1	社会生活と財産権		
		2-2	物権の特質		
第3章	物権法総論② —物権の効力—		導入(はじめに)		
		3-1	序説		
		3-2	物権の優先的効力		
		3-3	物権的請求権		
		3-4	物権的請求権の種類とその内容		
第4章	物権法総論③ —物権の種類と物権法定主義—	4-1	物権法定主義(第175条)		
		4-2	物権の種類と第175条に関する解釈論		
理解度チェック1					
第5章	物権法総論④ —物権の変動—		導入(はじめに)		○学修期間 5章～11章 5月4日～5月17日までに学修及び理解度チェック2を受けて下さい。 ○「理解度チェック2」 解答期限は5月17日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		5-1	総説		
		5-2	物権変動における「公示の原則」と「公信の原則」		
		5-3	動産と不動産とはどうして取扱いが異なるのか		
第6章	物権法総論⑤ —不動産の物権変動と公示(対抗要件)—		導入(はじめに)		
		6-1	不動産の物権変動と登記(第177条)		
		6-2	第177条における第三者の範囲		
第7章	物権法総論⑥ —登記がなければ対抗することができない物権変動—		導入(はじめに)		
		7-1	法律行為による物権変動		
		7-2	復帰的物権変動と登記		
第8章	物権法総論⑦ —登記制度と登記に関する諸問題①—		導入(はじめに)		
		8-1	不動産登記とは何か		
		8-2	登記簿の編成		
		8-3	表示に関する登記と権利に関する登記		
		8-4	記載内容による分類		
第9章	物権法総論⑧ —登記制度と登記に関する諸問題②—		導入(はじめに)		
		9-1	登記請求権		
		9-2	中間省略登記		
		9-3	登記の有効要件		
		9-4	仮登記		
		9-5	短期賃借権		
		9-6	まとめ		
第10章	物権法総論⑨ —動産の物権変動と公示(対抗要件)—		導入(はじめに)		
		10-1	動産の物権変動と第176条		
		10-2	動産の物権変動と引渡(第178条)		
第11章	物権法総論⑩ —即時取得に関する諸問題—		導入(はじめに)		
		11-1	動産と不動産の特色と取引		
		11-2	即時取得制度の意義		
		11-3	即時取得の要件1		
		11-4	即時取得の要件2		
		11-5	即時取得の要件3		
		11-6	即時取得の効果		
理解度チェック2					
第12章	物権法各論① 占有権(その1)		導入(はじめに)	○学修期間 12章～15章 5月18日～6月14日までに学修及び理解度チェック3を受けて下さい。 ○「理解度チェック3」 解答期限は6月14日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		12-1	占有権の種類について		
第13章	物権法各論② 占有権(その2)		導入(はじめに)		
		13-1	占有訴権について		
第14章	物権法各論③ 所有権(その1)		導入(はじめに)		
		14-1	所有権の概念		
		14-2	所有権の性質		
		14-3	所有権の制限		
		14-4	所有権の取得		
		14-5	相隣関係について		
第15章	物権法各論④ 所有権(その2)		導入(はじめに)		
		15-1	共有制度について		
理解度チェック3					
試 験					○「試験」 レポート試験は6月15日から6月22日まで が、出題及び提出期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。
受講後アンケート					6月15日～6月23日がアンケート回答期間になります。
復習期間				試験終了後の6月23日は全章の復習期間にしてください。	

科目名	刑法 I	開講単位数
担当講師名	野村 和彦	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番合	章名	節番合	節名	受講期間
	表紙			○本講座は3つのパート、15章で構成されています。また、それぞれのパートには学修期間が設定されています。○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。
第1章	犯罪の成立要件	1 2 3 4	犯罪論の課題 事例と問題の所在 事例をもとにした検討 段階的に捉える犯罪論の意味	○学修期間 1章～5章 4月16日～5月3日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。 ○「理解度チェック1」 解答期限は5月3日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
第2章	構成要件の全体像	1 2	犯罪類型は刑法上の分類の成果 構成要件の要素と論点	
第3章	不作為犯	1 2 3 4	自己点検 作為反と不作為犯 不真正不作為犯の成立要件 ひき逃げ犯罪の分類 不作為の共同正犯	
第4章	因果関係の課題	1 2 3 4	自己点検 因果関係の有無で構成要件が定まる 因果関係が問題となる場合 条件関係 因果関係の断絶	
第5章	相当因果関係説	1 2 3	自己点検 相当因果関係説 因果関係の錯誤 簡単な答案例	
理解度チェック1				
第6章	故意犯	1 2 3	自己点検 故意犯の位置づけ 故意犯と過失犯の区別 刑法上の錯誤	
第7章	事実の錯誤	1 2 3 4	自己点検 具体的事実の錯誤 法廷的符合説と具体的符合説 抽象的事実の錯誤 抽象的事実の錯誤で故意犯が認められる場合	
第8章	過失犯の構造	1 2 3	自己点検 過失犯の課題 過失犯としての処罰 過失犯の構造	
第9章	過失犯の成立要件	1 2 3 4	自己点検 過失犯の成立要件 信頼の原則 強制起訴された福島原発 21世紀刑法学の役割	
第10章	未遂犯	1 2 3 4	自己点検 未遂犯は構成要件の拡張形式 犯罪の遂行段階 既遂の時期 未遂犯(障害未遂)	
第11章	中止犯	1 2 3 4	自己点検 中止犯は構成要件か 中止犯の立法理由 中止犯の要件・効果 中止犯と共同正犯	
理解度チェック2				
第12章	共犯と単独犯	1 2 3 4	自己点検 共犯関係が構成要件を明らかにする 共犯の意義と種類 共同正犯・教唆犯・幫助犯の基礎的な区別 間接正犯、同時犯	
第13章	共同正犯	1 2 3 4	自己点検 共同正犯の要件 共謀共同正犯 承継的共同正犯 過失犯の共同正犯	
第14章	教唆犯・幫助犯	1 2 3 4	自己点検 狭義の共犯の処罰根拠 教唆犯 幫助犯 共犯の因果性	
第15章	身分犯と共犯	1 2 3 4	自己点検 身分犯は構成要件を明らかにする 65条1項・2項の解釈 共犯と錯誤 構成要件該当性のまとめ	
理解度チェック3				
試 験				○「試験」 レポート試験は6月15日～6月22日まで が、出題及び提出期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。
受講後アンケート				6月15日～6月23日がアンケート回答期間になります。
復習期間				試験終了後の6月23日は全章の復習期間にしてください。

政治学原論 MA メディア授業計画

科目名	政治学原論MA	単位
担当 教員名	荒井祐介	2

章番号	章名	節番号	節名	受講期間
	表紙			○本講座は3つのパート、15章で構成されています。 また、それぞれのパートには学修期間が設定されています。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、理解度チェック及び試験は解答期間を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。
第1章	政治とは何か	1節	(1)政治とは何か	○学修期間 1章～5章 4月16日～5月17日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。 ○「理解度チェック1」 解答期限は5月17日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		2節	(2)制御としての政治	
		3節	(3)権力としての政治	
		4節	(4)闘争としての政治	
第2章	伝統的政治学	5節	(5)価値配分としての政治	
		6節	(6)政治のさまざまな側面	
		自己点検		
第3章	現代政治学(1) -リアリズムと科学化の追求-	1節	(1)古代ギリシアの原政治学	
		2節	(2)近代ヨーロッパの政治学	
		3節	(3)制度論的政治学	
第4章	現代政治学(2) -行動論的政治学-	自己点検		
		1節	(1)制度論からリアリズムへ その1	
		2節	(1)制度論からリアリズムへ その2	
		3節	(2)政治学の科学化を求めて その1	
第5章	現代政治学(3) -脱行動論革命-	4節	(2)政治学の科学化を求めて その2	
		自己点検		
		1節	(1)行動論的政治学の登場	
第6章	古典的民主主義と現代民主主義	2節	(2)行動論的政治学の特徴	
		3節	(3)行動論的政治学の成果	
		自己点検		
第7章	ポリアーキー	1節	(1)アメリカ社会の変動	
		2節	(2)脱行動論革命	
		3節	(3)脱行動論革命後のアメリカ政治学	
第8章	多極共存型民主主義	自己点検		
		1節	(1)民主主義とは何か	
		2節	(2)古典的民主主義	
		3節	(3)現代民主主義 その1	
第9章	多数決型民主主義と合意形成型民主主義	4節	(3)現代民主主義 その2	
		自己点検		
		1節	(1)現実の民主主義体制	
		2節	(2)ポリアーキーとは何か その1	
		3節	(2)ポリアーキーとは何か その2	
第10章	執政制度	4節	(3)ポリアーキーへの経路	
		1節	(1)民主主義が成立する社会的条件	
		2節	(2)多元的民主主義論への批判 その1	
		3節	(2)多元的民主主義論への批判 その2	
第11章	投票行動	4節	(3)多極共存型民主主義 その1	
		5節	(3)多極共存型民主主義 その2	
		4節	(4)多極共存型民主主義の意義	
		自己点検		
第12章	政党	1節	(1)民主主義の2つのタイプ	
		2節	(2)民主主義の制度的相違のモデル化 その1	
		3節	(2)民主主義の制度的相違のモデル化 その2	
		4節	(3)民主主義の概念図	
第13章	政党システム	4節	(4)2つの民主主義モデルの意義	
		自己点検		
		1節	(1)執政制度とは何か	
		2節	(2)議院内閣制	
第14章	政策過程(1)	3節	(3)大統領制	
		4節	(4)半大統領制	
		5節	(5)大統領制化の議論 その1	
		6節	(5)大統領制化の議論 その2	
第15章	政策過程(2)	6節	(6)大統領制化論の意義	
		自己点検		
		1節	(1)投票行動の研究	
		2節	(2)社会学モデル	
第16章	選挙行動	3節	(3)心理学モデル	
		4節	(4)有権者の合理性をめぐる論争	
		5節	(5)投票行動研究の系譜	
		自己点検		
		1節	(1)政党の定義	
		2節	(2)政党の機能	
		3節	(3)ヴェーバーの政党類型論	
第17章	政党システム	4節	(4)デュベルジェの政党類型論	
		5節	(5)包括政党論	
		6節	(6)カルテル政党論	
		7節	(7)政党の発展	
第18章	政策過程(1)	自己点検		
		1節	(1)政党システムとは何か	
		2節	(2)デュベルジェの政党システム論	
		3節	(3)サルトルの政党システム論	
第19章	政策過程(2)	4節	(4)メアの政党システム論	
		5節	(5)政党システム論の系譜	
		自己点検		
		1節	(1)政策過程の段階	
第20章	政策過程(1)	2節	(2)個人レベルの政策決定	
		3節	(3)組織レベルの政策決定	
		4節	(4)アクターの影響力を左右するもの	
		5節	(5)政策決定論が見落としたもの	
第21章	政策過程(2)	自己点検		
		1節	(1)課題設定過程	
		2節	(2)政策実施過程	
		3節	(3)ゴミ缶モデル	
第22章	政策過程(2)	4節	(4)政策過程研究の展開	
		自己点検		

試験	○「試験」 レポート試験は6月15日～6月22日まで が、出題及び提出期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。
受講後アンケート	6月15日～6月23日がアンケート回答期間になります。
復習期間	試験終了後の6月23日は全章の復習期間にしてください。

科目名	国文学講義Ⅴ(近代)	開講単位数
担当講師名	榎本 正樹	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	項番号	項名	受講期間	
	表紙			○本講座は4つのパート、12章で構成されています。また、それぞれのパートには学修期間が設定されています。○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。	
第1章	日本近代文学史の展望	1-1	(導入)「国文学講義Ⅴ(近代)」の学習目標と範囲	○学修期間 1章～5章 4月16日～5月1日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。 ○「理解度チェック1」 解答期限は5月1日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		1-2	五箇条の御誓文(日本の近代化の出発=開化政策の出発点)		
		1-3	文学の近代化獲得の展開(文芸思潮・結社の展開)		
		1-4	第1章 自己点検		
第2章	明治初期の時代性と文学との関わり	2-1	(導入)時代背景と文学の関係		
		2-2	幕末維新から明治十年代にかけての開化政策について		
		2-3	「学制」公布と義務教育制度の発足		
		2-4	大新聞と小新聞の特色		
		2-5	第2章 自己点検		
第3章	政治小説の時代	3-1	(導入)大新聞の創刊を受けた展開		
		3-2	国会開設を目指す自由民権論と「政治小説」		
		3-3	第3章 自己点検		
第4章	「小説神髓」とその実践	4-1	(導入)「小説神髓」とその実践		
		4-2	「小説神髓」の時代		
		4-3	第4章 自己点検		
第5章	新体詩の移入・紹介	5-1	(導入)新体詩の移入・紹介		
		5-2	「新体詩抄」による新体詩の移入・紹介		
		5-3	第5章 自己点検		
理解度チェック1					
第6章	和歌史の概要	6-1	(導入)和歌史の概要	○学修期間 6章～7章 5月2日～5月15日までに学修した上で理解度チェック2を期間内で受けて下さい。 ○「理解度チェック2」 解答期限は5月15日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		6-2	和歌史の概要		
		6-3	近世和歌の展開		
		6-4	第6章 自己点検		
第7章	「御歌所」の設置	7-1	(導入)「御歌所」の設置		
		7-2	明治維新前後の和歌壇		
		7-3	「御歌所」の設置		
		7-4	第7章 自己点検		
理解度チェック2					
第8章	与謝野鉄幹の「亡国の音」	8-1	(導入)和歌の革新-与謝野鉄幹-		○学修期間 8章～9章 5月16日～5月29日までに学修した上で理解度チェック3を期間内で受けて下さい。 ○「理解度チェック3」 解答期限は5月29日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		8-2	「亡国の音」を読む		
		8-3	「亡国の音」の内容解説		
		8-4	第8章 自己点検		
第9章	与謝野鉄幹の実作活動	9-1	(導入)与謝野鉄幹の実作活動		
		9-2	「亡国の音」が目指したもの		
		9-3	東西南北から紫へ		
		9-4	『明星』創刊と鳳晶子の登場		
		9-5	晶子のその後と『明星』派歌人の活躍		
		9-6	第9章 自己点検		
理解度チェック3					
第10章	正岡子規の「歌よみに与ふる書」	10-1	(導入)正岡子規の「歌よみに与ふる書」	○学修期間 10章～12章 5月30日～6月12日までに学修した上で理解度チェック4を期間内で受けて下さい。 ○「理解度チェック4」 解答期限は6月12日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		10-2	「歌よみに与ふる書」～「再び」「三たび」「四たび」「五たび」		
		10-3	正岡子規の目指したもの		
		10-4	第10章 自己点検		
第11章	正岡子規の実践活動(短歌)	11-1	(導入)正岡子規の実践活動(短歌)		
		11-2	正岡子規の実作活動		
		11-3	その後のアララギの展開		
		11-4	第11章 自己点検		
第12章	正岡子規の俳句革新活動	12-1	(導入)俳句の近代化		
		12-2	俳句革新活動		
		12-3	正岡子規とその門下生の実作活動		
		12-4	結び		
		12-5	第12章 自己点検		
理解度チェック4					
試 験				○「試験」 レポート試験は6月13日～6月20日まで が、出題及び提出期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。	
受講後アンケート				6月13～6月23日がアンケート回答期間になります。	
復習期間				試験終了後の6月21～6月23の間は全章の復習期間にしてください。	

科目名	イギリス文学史 I	開講単位数
担当講師名	猪野 恵也	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間	
	表紙			○本講座は4つのパート、15章で構成されています。また、それぞれのパートには学修期間が設定されています。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。	
第1章	イントロダクション		導入(はじめに)	○学修期間 1章～4章 4月16日～5月1日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。 ○「理解度チェック1」 解答期限は5月1日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		1-1	なぜ文学史を学ぶのか①		
		1-2	なぜ文学史を学ぶのか②		
		1-3	なぜ文学史を学ぶのか③		
			自己点検		
第2章	アングロ・サクソンの時代		導入(はじめに)		
		2-1	イギリスの始まり		
		2-2	キリスト教の伝来		
		2-3	『ベーオウルフ』—最初の作品		
			自己点検		
第3章	中世時代の文学(1)		導入(はじめに)		
		3-1	中世のイギリス—内乱と疫病の時代		
		3-2	ラングランド『農夫ピアズの夢』		
		3-3	中世ロマンスの世界—アーサー王伝説		
			自己点検		
第4章	中世時代の文学(2)	4-1	チョーサー登場		
		4-2	チョーサーの『カンタベリー物語』		
		4-3	中世時代の詩と散文		
			自己点検		
理解度チェック1					
第5章	ルネッサンス時代の文学(1)		導入(はじめに)	○学修期間 5～7章 5月2日～5月15日までに学修した上で理解度チェック2を期間内で受けて下さい。 ○「理解度チェック2」 解答期限は5月15日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		5-1	チューダー王朝とルネッサンスの幕開け		
		5-2	エドモンド・スペンサーと英詩の開花		
		5-3	ルネッサンス時代の散文作家たち		
			自己点検		
第6章	ルネッサンス時代の文学(2)	6-1	演劇の発展—神秘劇、道徳劇、幕間劇		
		6-2	シェイクスピア登場前の演劇		
		6-3	シェイクスピア登場		
			自己点検		
第7章	ルネッサンス時代の文学(3)	7-1	初期のシェイクスピア		
		7-2	中期のシェイクスピア		
		7-3	後期のシェイクスピア		
			自己点検		
理解度チェック2					
第8章	作品を読む<1>シェイクスピアを読む		導入(はじめに)		○学修期間 8～11章 5月16日～5月29日までに学修した上で理解度チェック3を期間内で受けて下さい。 ○「理解度チェック3」 解答期限は5月29日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		8-1	ソネットを読む		
		8-2	『ヴェニス商人』より		
		8-3	『ハムレット』より		
			自己点検		
第9章	ルネッサンス時代の文学(4)		導入(はじめに)		
		9-1	ベン・ジョンソンの古典劇		
		9-2	ジョン・ウェブスターの『白い悪魔』など		
		9-3	その他の劇作家たちと劇場閉鎖へ		
			自己点検		
第10章	ピューリタン時代の文学(1)		導入(はじめに)		
		10-1	清教徒革命と共和制時代		
		10-2	ジョン・ミルトン「抒情詩の時代」		
		10-3	ジョン・ミルトン「散文の時代」		
			自己点検		
第11章	ピューリタン時代の文学(2)	11-1	ジョン・ミルトン「叙事詩の時代」(1)		
		11-2	ジョン・ミルトン「叙事詩の時代」(2)		
		11-3	ジョン・バニアン『天路历程』		
			自己点検		
理解度チェック3					
第12章	17世紀の詩		導入(はじめに)	○学修期間 12章～15章 5月30日～6月12日までに学修した上で理解度チェック4を期間内で受けて下さい。 ○「理解度チェック4」 解答期限は6月12日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		12-1	王党派詩人たちの詩を読む		
		12-2	形而上詩人(1)—ジョン・ダン		
		12-3	形而上詩人(2)—アンドリュウ・マーヴェル		
			自己点検		
第13章	作品を読む<2>	13-1	ミルトン『失樂園』を読む(1)		
		13-2	ミルトン『失樂園』を読む(2)		
			自己点検		
第14章	作品を読む<3>	14-1	ダンを読む「別れの歌」		
		14-2	マーヴェルを読む「庭」		
			自己点検		
第15章	再び文学史を学ぶことについて		導入(はじめに)		
		15-1	Canonということ		
		15-2	伝統ということ		
			自己点検		
理解度チェック4					
試 験				○「試験」 レポート試験は6月13日～6月20日まで が、出題及び提出期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。	
受講後アンケート				6月13日～6月23日がアンケート回答期間になります。	
復習期間				試験終了後の6月21日～6月23日の間は全章の復習期間にしてください。	

科目名	英文法	開講単位数
担当講師名	山岡 洋	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間
	表紙			○本講座は4つのパート、12章で構成されています。また、それぞれのパートには学修期間が設定されています。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。
第1章	序論(1) Introduction(1)		導入	○学修期間 1章~4章 4月16日~5月2日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。 ○「理解度チェック1」 解答期限は5月2日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		1-1	「文法」とは何か?(What is 'Grammar'?)	
		1-2	品詞と文の働き(Word Classes and Functions in a Sentence)	
第2章	序論(2) Introduction(2)		自己点検	
			導入	
		2-1	語順(Word Order)	
		2-2	主語(Subject)	
		2-3	数(Number)	
		2-4	時制の一致(Sequence of Tenses)	
第3章	文の種類(1) Types of Sentences(1)	2-5	語句の結び付き(Connection of words and phrases)	
			自己点検	
			導入	
第4章	文の種類(2) Types of Sentences(2)	3-1	様々な種類(Various Types)	
		3-2	平叙文(Declarative Sentence): 肯定文と否定文	
第5章	名詞(1) Nouns(1)		自己点検	
		4-1	疑問文(Interrogative Sentence)	
		4-2	命令文(Imperative Sentence)	
		4-3	感嘆文(Exclamatory Sentence)	
理解度チェック1				
第6章	名詞(2) Nouns(2)		自己点検	
		5-1	名詞とは(What is a noun?)	
		5-2	可算名詞・不可算名詞(Countable/Uncountable Nouns)	
		5-3	名詞の性(Gender)	
		5-4	名詞の格(Case)	
第7章	名詞(3) Nouns(3)		自己点検	
		6-1	名詞の種類(Kinds of Noun)	
		6-2	普通名詞(Common Nouns)	
		6-3	集合名詞(Collective Nouns)	
		6-4	物質名詞(Material Nouns)	
		6-5	抽象名詞(Abstract Nouns)	
第8章	名詞(4) Nouns(4)	6-6	固有名詞(Proper Nouns)	
			自己点検	
理解度チェック2				
第9章	代名詞(1) Pronouns(1)		導入	
		7-1	代名詞とは(What is a pronoun?)	
第10章	代名詞(2) Pronouns(2)	7-2	人称代名詞(1)(Personal Pronouns) (1)	
			自己点検	
		8-1	人称代名詞(2)(Personal Pronouns) (2)	
第11章	代名詞(3) Pronouns(3)	8-2	指示代名詞(Demonstrative Pronouns)	
		8-3	疑問代名詞(Interrogative Pronouns)	
			自己点検	
		9-1	不定代名詞(Indefinite Pronouns)	
		9-2	one	
		9-3	all	
		9-4	both	
		9-5	eitherとneither	
		9-6	eachとevery	
		9-7	anotherとother	
第12章	冠詞 Articles	9-8	相互代名詞(reciprocal pronouns)	
		9-9	some, any, no, every + -body, -one, -thing	
			自己点検	
		10-1	冠詞とは(What is an article?)	
第13章	冠詞 Articles	10-2	冠詞の文法(The grammar of articles)	
		10-3	冠詞の意味(The meanings of articles)	
		10-4	総称文(Generic sentences)	
			自己点検	
理解度チェック3				
第14章	動詞(1)		導入	
		11-1	動詞とは(What is a verb?)	
		11-2	動詞の文法的種類(The types of verbs)	
第15章	動詞(2)		自己点検	
		12-1	5文型(The 5 sentence patterns)	
		12-2	動詞の補部(Complements of verbs)	
		12-3	状態動詞と動作動詞(Stative verbs and dynamic verbs)	
			自己点検	
理解度チェック4				
試験				○「試験」 試験は6月14日~6月21日まで が、出題及び提出期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。
受講後アンケート				6月14日~6月23日がアンケート回答期間になります。
復習期間				試験終了後の6月22日~6月23日の間は全章の復習期間にしてください。

科目名	英米文学概説	単位
担当教員名	猪野 恵也	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間
	表紙			○本講座は4つのパート、12章で構成されています。また、それぞれのパートには学修期間が設定されています。○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。
第1章	アングロ・サクソン文学	1-1	導入	○学修期間 1章～3章 4月16日～4月30日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。 ○「理解度チェック1」 解答期限は4月30日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		1-2	序論	
		1-3	最近の歴史学と英文学研究	
			北歐伝説と運命観—アングロ・サクソン文学	
第2章	初期のキリスト教文学とChaucerの世界		自己点検	
		2-1	導入	
		2-2	初期のキリスト教文学	
		2-3	アーサー王伝説	
		2-4	フランス文化の流入	
第3章	Shakespeareの世界	2-4	聖俗の混交「カンタベリー物語」	
			自己点検	
		3-1	導入	
		3-2	シェイクスピアの世界	
		3-3	エリザベス朝と演劇の興隆	
		3-4	シェイクスピアの人生	
		3-5	シェイクスピアの台本の編集	
		3-6	シェイクスピアの戯曲	
	憂鬱なハムレット像			
	シェイクスピアと常識			
	人生の深い洞察			
	自己点検			
理解度チェック1				
第4章	英文学における宗教と文学—MiltonとBunyan	4-1	導入	○学修期間 4章～6章 5月1日～5月14日までに学修した上で理解度チェック2を期間内で受けて下さい。 ○「理解度チェック2」 解答期限は5月14日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		4-2	清教徒革命	
		4-3	ジョン・ミルトンの『失楽園』	
		4-4	ジョン・バンヤン『天路歷程』	
		4-5	清教主義	
		4-6	ミルトンの人生と仕事	
		4-7	『失楽園』	
			『失楽園』の魅力	
	自己点検			
第5章	散文文学の発達—DefoeとSwift	5-1	導入	
		5-2	英文学・文化の特質の研究	
		5-3	『ロビンソン・クルーソー』と『カリヴァー旅行記』	
		5-4	デフォーの人生と『ロビンソン・クルーソー』	
		5-5	『ロビンソン・クルーソー』の読みどころ	
		5-6	文化的問題点	
		5-7	宗教と実務	
		5-8	『カリヴァー旅行記』と著者スウィフト	
		5-9	『カリヴァー旅行記』の物語	
	スウィフトの性格と現代的視点			
	自己点検			
第6章	英国の詩—形而上派・古典主義	6-1	導入	
		6-2	知的な詩の伝統	
		6-3	英文学における詩の位置	
		6-4	形而上派詩人	
		6-5	ジョン・ダン	
		6-6	ドライデンとホープ	
		6-7	ドライデンの人生と作品	
		6-8	ホープの世界	
		6-9	『人間論』	
	ホープの現実的人間論			
	自己点検			
理解度チェック2				
第7章	人間的関心(1):常識とユーモア—Dr Johnson, Goldsmith: The Vicar of Wakefield	7-1	導入	○学修期間 7章～10章 5月15日～5月28日までに学修した上で理解度チェック3を期間内で受けて下さい。 ○「理解度チェック3」 解答期限は5月28日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		7-2	時代精神の変化	
		7-3	ジョンソン博士	
		7-4	ジョンソン博士の名言	
		7-5	Oliver Goldsmithの <i>The Vicar of Wakefield</i>	
		7-6	<i>The Vicar of Wakefield</i> の問題点	
			小説史とのかかわり	
	自己点検			
第8章	人間的関心(2):小説の誕生とロマン主義の復活—4大作家、ロマン派の詩人たち、ゴシック・ロマンスと超常現象趣味	8-1	導入	
		8-2	小説の誕生まで	
		8-3	小説の開祖	
		8-4	Samuel Richardson	
		8-5	『パメラあるいは報いられた美德』	
		8-6	『パメラ』の成功と人気	
		8-7	Henry Fielding	
		8-8	Laurence Sterne & Tobias Smollett	
		8-9	神秘的想像力とロマン主義の詩	
		8-10	William Blake	
		8-11	Wordsworth & Coleridge	
		8-12	Byron, Shelley, Keats	
		8-13	Walter Scott	
		8-14	恐怖派のゴシック・ロマンス	
		8-15	その他のゴシック・ロマンス	
	ゴシック・ロマンスと英国的想像力の伝統			
	自己点検			
第9章	リアリズムの精神と小説の隆盛(1)—産業革命とヴィクトリア朝文化: AustenからBrontë姉妹まで	9-1	導入	
		9-2	Jane Austen	
		9-3	産業主義社会の到来と小説の発展	
		9-4	Charles Dickens	
		9-5	Elizabeth Gaskell	
		9-6	The Brontës	
	William Makepeace Thackeray			
	自己点検			
第10章	リアリズムの精神と小説の隆盛(2)—G.EliotからHardyまで	10-1	導入	
		10-2	George Eliot と Thomas Hardy	
		10-3	論壇からの声	
		10-4	審美主義の思想と産業文化批判	
		10-5	退廃の世紀末とワイルド	
		10-6	自然主義・フェミニズム・ロマンチズム	
		10-7	新種のロマン主義	
		10-8	フェミニズムの成長	
		10-9	進化論・科学・社会主義	
	ヴィクトリア朝の詩人たち			
	自己点検			
理解度チェック3				
第11章	美の追求と自然主義・社会主義の文学—第一次大戦後まで	11-1	導入	○学修期間 11章～12章 5月29日～6月11日までに学修した上で理解度チェック4を期間内で受けて下さい。 ○「理解度チェック4」 解答期限は6月11日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		11-2	John Galsworthy, <i>The Forsyte Saga</i> のヴィクトリア朝中産階級批判	
		11-3	アーノルド・ベネット(Arnold Bennett)の自然主義と審美的人生観	
		11-4	H. G. Wellsの科学知識と文明批評その他	
		11-5	世代の交代と新種の文化—Bloomsbury Group	
	第一次大戦・Ulysses・The Waste Land			
	自己点検			
第12章	20世紀英文学の課題—自然、政治的信条、信仰、福祉社会、植民地	12-1	導入	
		12-2	D. H. ロレンスと自然	
		12-3	ジョージ・オーウェル	
		12-4	さまざまな信条の嵐のなかで—イチャウッド、ウォー、グリーン	
		12-5	第二次大戦以後の文学—福祉国家と植民地出身者の作品	
		12-6	怒れる若者たち—福祉制度と労働階級	
		12-7	戦争中の収穫	
		12-8	アントニー・ボウエルとアンガス・ウィルソン—悪の研究	
		12-9	「怒れる若者たち」以後—哲学的性格と美的性格	
	現代小説の多様性と旧植民地ほかの異文化の影響			
	自己点検			
理解度チェック4				
試験				○「試験」 レポート試験は6月12日から6月19日までが、出題及び提出期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。
受講後アンケート				6月12日～6月23日がアンケート回答期間になります。
復習期間				試験終了後の6月20日から6月23日は全章の復習期間にしてください。

科目名	英語史	開講単位数
担当講師名	真野 一雄	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間
	表紙			○本講座は2つのパート、12章で構成されています。また、それぞれのパートには学修期間が設定されています。○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であればいつでも可能ですが、理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。
第1章	インド・ヨーロッパ語族(1)		導入	○学修期間 1章～7章 4月16日～5月16日までに学修した上で理解度チェック1を期間内で受けて下さい。 ○「理解度チェック1」 解答期限は5月16日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		1-1	インド・ヨーロッパ語族	
		1-2	インド・ヨーロッパ祖語	
		1-3	インド・ヨーロッパ祖語とウィリアム・ジョーンズ	
		1-4	インド・ヨーロッパ語族の分散と系統図	
		1-5	ケントウムとサテム	
	自己点検			
第2章	インド・ヨーロッパ語族(2)		導入	
		2-1	インド語派	
		2-2	バルト・スラブ語派	
		2-3	イタリック語派	
		2-4	ラテン語	
		2-5	ケルト語派	
	自己点検			
第3章	ゲルマン語派(1)		導入	
		3-1	ゲルマン語の特徴	
		3-2	強弱アクセント	
		3-3	子音の変化	
		3-4	動詞組織の単純化	
		3-5	弱変化動詞	
	自己点検			
第4章	ゲルマン語派(2)		導入	
		4-1	ゲルマン祖語	
		4-2	東ゲルマン語	
		4-3	北ゲルマン語	
		4-4	西ゲルマン語—ドイツ語	
		4-5	西ゲルマン語—低地ドイツ語	
		4-6	ベルギーの言語	
		4-7	英語と低地ドイツ語	
	自己点検			
第5章	古英語(1)		導入	
		5-1	先住民族ケルト人	
		5-2	アングロ・サクソン人の渡来	
		5-3	時代区分	
		5-4	EnglandとBritainの違い	
	自己点検			
第6章	古英語(2)		導入	
		6-1	古英語の文例—聖書「主の祈り」	
		6-2	古英語の特徴—文字	
		6-3	綴り文	
		6-4	発音	
		6-5	活用語尾	
		6-6	語順	
6-7	借用語			
	自己点検			
第7章	古英語(3)		導入	
		7-1	本来語の語形成	
		7-2	ラテン借用語	
		7-3	ラテン借用語とキリスト教	
		7-4	ケルト借用語	
		7-5	古ノルド(スカンジナビア)借用語	
		7-6	頭韻	
7-7	(参考)脚韻			
	自己点検			
理解度チェック1				
第8章	中英語(1)		導入	○学修期間 8章～12章 5月17日～6月13日までに学修した上で理解度チェック2を期間内で受けて下さい。 ○「理解度チェック2」 解答期限は6月13日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		8-1	OEとMEの英語について	
		8-2	1066年	
		8-3	NormanConquestからの英語復活	
		8-4	NormanConquestとは	
		8-5	HaroldとWilliamの継承争い	
		8-6	NormanConquest以後	
		8-7	Normanとの関係	
		8-8	1204年の意味	
		8-9	フランス語の英語への影響	
		8-10	英語の使用について	
8-11	時代区分			
	自己点検			
第9章	中英語(2)		導入	
		9-1	屈折語尾の衰退について	
		9-2	屈折語尾の衰退の影響	
		9-3	文法性の消失について	
		9-4	文法性の消失の理由	
		9-5	MEの方言の多様性の理由	
		9-6	方言決定の手がかり	
9-7	方言図			
	自己点検			
第10章	現代英語(1)—時代区分、その背景		導入	
		10-1	時代区分	
		10-2	背景の出来事	
		10-3	Caxtonの印刷術について	
		10-4	Caxtonの英語への影響	
		10-5	Renaissanceと宗教改革(1)	
		10-6	Renaissanceと宗教改革(2)	
		10-7	イギリスの海外進出	
10-8	Academyについて			
	自己点検			
第11章	現代英語(2)—ModEの特徴		導入	
		11-1	言語的な面からみた特徴	
		11-2	The Great Vowel Shift	
		11-3	発音の手がかり	
		11-4	標準英語の成立について	
		11-5	ロンドン方言が標準語の母体となった理由	
		11-6	方言について	
11-7	文法書、辞書について			
	自己点検			
第12章	現代英語(3)—借用語、アメリカ英語など		導入	
		12-1	語彙、借用語	
		12-2	借用の目的、借用反対の理由	
		12-3	その他の借用について	
		12-4	アメリカ英語	
12-5	オーストラリア英語とその他			
	自己点検			
理解度チェック2				
試 験				○試験 レポート試験は6月14日～6月21日までが、出題および提出期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。
受講後アンケート				6月14日～6月23日がアンケート回答期間になります。
復習期間				試験終了後の6月22日～6月23日の間は全章の復習期間にしてください。

英語音声学MA 授業計画

科目名	英語音声学	開講単位数
担当講師名	中村 光宏	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間	
	表紙			○本講座は3つのパート、12章で構成されています。また、それぞれのパートには学修期間が設定されています。○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。	
第1章	話しことばの科学		導入	○学修期間 1章～5章 4月16日～5月3日までに学習した上で理解度チェック1を期間内で受けてください。 ○「理解度チェック1」 解答期限は5月3日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		1-1	ことばと媒介		
		1-2	話しことばの中の情報		
		1-3	ことばの鎖		
			自己点検		
第2章	ことばを生み出す身体器官		導入		
		2-1	発音に関わる3つの機構		
		2-2	発声機構		
		2-3	調音機構		
		2-4	音声器官と音声言語		
			自己点検		
第3章	音声記述の枠組み(1)		導入		
		3-1	言語音声の分類と記述		
		3-2	子音の調音		
		3-3	国際音声字母(IPA)		
			自己点検		
第4章	音声記述の枠組み(2)		導入		
		4-1	母音の調音運動と声道		
		4-2	母音の調音		
		4-3	日本語の母音		
			自己点検		
第5章	音韻論の基本的概念(1)		導入		
		5-1	音声の言語学的段階		
		5-2	音素と異音		
		5-3	音節		
			自己点検		
理解度チェック1					
第6章	英語の母音		導入	○学修期間 6章～8章 5月4日～5月17日までに学修した上で理解度チェック2を期間内で受けてください。 ○「理解度チェック2」 解答期限は5月17日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		6-1	アメリカ標準発音とイギリス標準発音		
		6-2	英語の母音		
		6-3	英語母音の調音の特徴		
		6-4	一般アメリカ発音と容認発音の音声表記		
			自己点検		
第7章	英語の子音		導入		
		7-1	子音の調音運動とその音声学的記述		
		7-2	調音の位置と様式		
		7-3	英語のRとL		
			自己点検		
第8章	音節		導入		
		8-1	音節構造		
		8-2	英語の音節構造		
		8-3	頭子音と尾子音		
		8-4	音節と言語音の聞こえ度		
			自己点検		
理解度チェック2					
第9章	英語音声の観察と発音練習(1)		導入	○学修期間 9章～12章は、開講最終日まで受講可能ですが、5月18日～6月22日がレポート試験提出期間になりますので、注意してください。	
		9-1	アメリカ標準発音の母音		
		9-2	イギリス標準発音の母音		
		9-3	アメリカ標準発音とイギリス標準発音の母音		
			9-4		英語母音とその音声表記
第10章	英語音声の観察と発音練習(2)		10-1		困難を感じやすい英語子音の区別
			10-2		英語の子音連続
			10-3		英語子音とその音声表記
第11章	音韻論の基本的概念(2)		導入		
		11-1	発音の規則性		
		11-2	英語の異音規則		
		11-3	明るいと暗いL		
			11-4	Pre-Fortis Clipping	
				自己点検	
第12章	日英語の音声・音韻体系と音声転移		導入		
		12-1	音声転移		
		12-2	日本語と英語の分節音		
		12-3	日本語と英語の音節		
				自己点検	
試 験				○試験 レポート試験は5月18日～6月22日までが、出題および提出期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。	
受講後アンケート				5月18日～6月23日がアンケート回答期間になります。	
復習期間				試験終了後の6月23日は全章の復習期間にしてください。	

科目名	英語学概説	開講単位数
担当講師名	山岡 洋	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間
	表紙			○本講座は3つのパート、15章で構成されています。また、それぞれのパートには学修期間が設定されています。○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。 ○学修期間 1章～4章 4月16日～5月3日までに学修及び理解度チェック1を受けてください。 ○理解度チェック1 解答期限は5月3日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。 ○理解度チェック解答回数 解答期間内であれば何度でも解答可能です。 ただし、一番最後に解答したものを有効な解答として受理します。
第1章	英語学とは 一言語学の中の英語学ー	1-1	「ことば」とは何か?	
		1-2	ことばの知識	
		1-3	言語学と英語学の諸分野	
			自己点検	
第2章	音の研究 一音声学と音韻論ー	2-1	音の研究分野	
		2-2	音声学と音韻論	
			自己点検	
第3章	音声学(1)	3-1	ことばの音はどのように作られるか(始動・発声)	
		3-2	調音	
		3-3	ことばの音の種類	
			自己点検	
第4章	音声学(2)	4-1	母音	
		4-2	子音	
			自己点検	
理解度チェック1				
第5章	音韻論(1)	5-1	音素	
		5-2	音声素性	
			自己点検	
第6章	音韻論(2)	6-1	音節	
		6-2	音節とモーラ、閉音節言語と開音節言語	
		6-3	音節量	
			自己点検	
第7章	音韻論(3)	7-1	アクセント	
		7-2	語アクセント	
			自己点検	
第8章	音韻論(4)	8-1	リズム	
		8-2	イントネーション	
			自己点検	
理解度チェック2				
第9章	意味の研究	9-1	意味の研究とは	
		9-2	多義性と同義性	
		9-3	前提と含意	
			自己点検	
第10章	意味論(1)	10-1	他動性	
		10-2	アスペクト	
		10-3	「事実」と「想定」	
			自己点検	
第11章	意味論(2)	11-1	認知意味論	
		11-2	認知意味論の様々な概念	
			自己点検	
第12章	意味論(3)	12-1	メタファー	
		12-2	メトニミー	
			自己点検	
第13章	意味論(4)	13-1	形式意味論	
			自己点検	
第14章	語用論(1)	14-1	語用論とは	
		14-2	「協調の原理」	
			自己点検	
第15章	語用論(2)	15-1	ポライトネス	
			自己点検	
理解度チェック3				
試 験				○「試験」 レポート試験は6月15日～6月22日まで が、出題及び提出期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。
受講後アンケート				6月15日～6月23日がアンケート回答期間になります。
復習期間				試験終了後の6月23日は全章の復習期間にしてください。

科目名	東洋史概説／東洋史概論	開講単位数
担当講師名	高橋 博文	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	項番号	項名	受講期間		
	表紙			○本講座は4つのパート、12章で構成されています。また、それぞれのパートには学修期間が設定されています。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。		
中国近現代史入門	第1章 中国概論	1-1	(導入)中国概論 中国という呼称 レジューメ 中国という呼称 解説	○学修期間 1章～3章 4月16日～5月2日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。 ○「理解度チェック1」 解答期限は5月2日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。		
		1-2	中国の概要 レジューメ 中国の概要 解説			
		1-3	中国の人口・民族 レジューメ 中国の人口・民族 解説			
		1-4	中国の歴史 レジューメ 中国の歴史 解説			
		1-5	中国の地理的特徴 レジューメ 中国の地理的特徴 解説			
		1-6	中国史の考え方 レジューメ 中国史の考え方 解説 まとめ			
清朝の衰退	第2章 アヘン戦争	2-1～2	(導入)アヘン戦争 時代背景 レジューメ 清の衰退 解説 朝貢システムの動揺 解説		○学修期間 4章～6章 5月3日～5月16日までに学修した上で理解度チェック2を期間内で受けて下さい。 ○「理解度チェック2」 解答期限は5月16日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		2-3	アヘン問題 レジューメ アヘン問題 解説			
		2-4	アヘン戦争 レジューメ アヘン戦争 解説			
		2-5	南京条約 レジューメ 南京条約 解説			
		2-6	アロー戦争 レジューメ アロー戦争 解説 まとめ			
		3-1	(導入)太平天国運動 時代背景 レジューメ 洪秀全と楊秀清 解説 洪秀全と楊秀清 解説			
	第3章 太平天国運動	3-2	太平天国の成立と変質 レジューメ 太平天国の成立と変質 解説			
		3-3	太平天国の滅亡 レジューメ 太平天国の滅亡 解説			
		3-4	太平天国運動の意義 レジューメ 太平天国運動の意義 解説 まとめ			
		3-5	理解度チェック1			
		第4章 洋務運動と変法運動	4-1	(導入)洋務運動と変法運動 洋務運動 レジューメ 洋務運動 解説		○学修期間 7章～9章 5月17日～5月30日までに学修した上で理解度チェック3を期間内で受けて下さい。 ○「理解度チェック3」 解答期限は5月30日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
			4-2	日清戦争 レジューメ 日清戦争 解説		
4-3	変法運動 レジューメ 変法運動 解説					
4-4	義和団運動 レジューメ 義和団運動 解説 まとめ					
5-1	(導入)辛亥革命 列強の中国侵略 レジューメ 列強の中国侵略 解説					
第5章 辛亥革命	5-2	清の国政改革 レジューメ 清の国政改革 解説	○学修期間 10章～12章 5月31日～6月13日までに学修した上で理解度チェック4を期間内で受けて下さい。 ○「理解度チェック4」 解答期限は6月13日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。			
	5-3	革命運動の進展 レジューメ 革命運動の進展 解説				
	5-4	辛亥革命 レジューメ 辛亥革命 解説				
	5-5	軍閥支配 レジューメ 軍閥支配 解説 まとめ				
	第6章 五・四運動	6-1		(導入)五・四運動 第一次世界大戦と日中関係 レジューメ 第一次世界大戦と日中関係 解説		
		6-2		中国民族産業の発展 レジューメ 中国民族産業の発展 解説		
6-3		新文化運動 レジューメ 新文化運動 解説				
6-4		五・四運動 レジューメ 五・四運動 解説 まとめ				
中華民国の時代	第7章 中国国民革命	7-1		(導入)中国国民革命 ワシントン体制と中国 レジューメ ワシントン体制と中国 解説	○学修期間 11章～12章 6月14日～6月21日までが、出題及び提出期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。	
		7-2		第一次国共合作 レジューメ 第一次国共合作 解説		
		7-3		国民革命 レジューメ 国民革命 解説		
		7-4		南京国民政府の全国統一 レジューメ 南京国民政府の全国統一 解説		
		7-5	中華ソビエト共和国臨時政府 レジューメ 中華ソビエト共和国臨時政府 解説 まとめ			
	第8章 満洲事変	8-1	(導入)満洲事変 満洲事変 レジューメ 満洲事変 解説			
		8-2	満洲国 解説			
		8-3	南京国民政府の「安内攘外」政策 レジューメ 南京国民政府の「安内攘外」政策 解説			
		8-4	抗日民族統一戦線 レジューメ 抗日民族統一戦線 解説 まとめ			
	第9章 日中全面戦争	9-1	(導入)日中全面戦争 華北分離工作 レジューメ 華北分離工作 解説			
		9-2	日中全面戦争の開始 レジューメ 日中全面戦争の開始 解説			
		9-3	南京アトロシティーズ レジューメ 南京アトロシティーズ 解説			
9-4		拡大する戦局 レジューメ 拡大する戦局 解説 まとめ				
中華人民共和国の時代	第10章 中華人民共和国の誕生	10-1	(導入)中華人民共和国の誕生 国共内戦 レジューメ 国共内戦 解説	○学修期間 12章～13章 6月22日～6月23日の間は全章の復習期間にしてください。		
		10-2	中華人民共和国の成立 レジューメ 中華人民共和国の成立 解説			
		10-3	新中国の建設 レジューメ 新中国の建設 解説			
		10-4	新中国の外交政策 レジューメ 新中国の外交政策 解説 まとめ			
	第11章 文化大革命	11-1	(導入)文化大革命 「大躍進」政策 レジューメ 「大躍進」政策 解説			
		11-2	「調整」政策 レジューメ 「調整」政策 解説			
		11-3	中ソ対立 レジューメ 中ソ対立 解説			
		11-4	文化大革命 レジューメ 文化大革命 解説 まとめ			
	第12章 改革・開放政策下の中国	12-1	(導入)改革・開放政策下の中国 鄧小平体制の確立 レジューメ 鄧小平体制の確立 解説			
		12-2	改革・開放政策 レジューメ 改革・開放政策 解説			
		12-3	民主化運動と天安門事件 レジューメ 民主化運動と天安門事件 解説			
		12-4	中国の新たな飛躍 レジューメ 中国の新たな飛躍 解説 まとめ			
理解度チェック4						
試験				○「試験」 レポート試験は6月14日～6月21日までが、出題及び提出期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。		
受講後アンケート				6月14日～6月23日がアンケート回答期間になります。		
復習期間				試験終了後の6月22日～6月23日の間は全章の復習期間にしてください。		

科目名	経済学概論	開講単位数
担当講師名	関谷 喜三郎	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	項番号	項名	受講期間
	表紙			○本講座は4つのパート、12章で構成されています。また、それぞれのパートには学修期間が設定されています。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。
第1章	需要と供給		導入	○学修期間 1章～3章 4月16日～5月1日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。 ○「理解度チェック1」 解答期限は5月1日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		1-1	ミクロ経済学	
		1-2	需要と供給	
		1-3	市場均衡	
第2章	家計の行動		導入	
		2-1	予算制約	
		2-2	選好と無差別曲線	
		2-3	最適消費計画	
第3章	最適選択		導入	
		3-1	代替効果と所得効果	
		3-2	スルツキー方程式	
		3-3	需要曲線	
理解度チェック1				
第4章	スルツキー方程式の応用		導入	○学修期間 4章～6章 5月2日～5月15日までに学修した上で理解度チェック2を期間内で受けて下さい。 ○「理解度チェック2」 解答期限は5月15日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		4-1	初期保有と最適選択	
		4-2	労働市場	
第5章	企業行動:利潤最大化		導入	
		5-1	技術の制約	
		5-2	生産関数と限界生産物	
		5-3	利潤最大化	
第6章	企業行動:費用曲線		導入	
		6-1	総費用	
		6-2	限界費用と平均費用	
		6-3	利潤最大化	
		6-4	供給曲線	
理解度チェック2				
第7章	企業行動:費用最小化		導入	○学修期間 7章～9章 5月16日～5月29日までに学修した上で理解度チェック3を期間内で受けて下さい。 ○「理解度チェック3」 解答期限は5月29日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。 ○理解度チェック解答回数 解答期間内であれば何度でも提出可能です。 ただし、一番最後に解答したものを有効な解答として受理します。
		7-1	等量線	
		7-2	等費用線	
		7-3	費用最小化	
第8章	競争均衡		導入	
		8-1	完全競争市場	
		8-2	市場メカニズム	
		8-3	最適資源配分	
		8-4	厚生経済学の基本定理	
第9章	不完全競争:独占		導入	
		9-1	不完全競争市場	
		9-2	独占市場	
		9-3	独占的競争市場	
理解度チェック3				
第10章	不完全競争:寡占		導入	○学修期間 10章～12章 5月30日～6月12日までに学修した上で理解度チェック4を期間内で受けて下さい。 ○「理解度チェック4」 解答期限は6月12日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		10-1	寡占市場	
		10-2	ゲーム理論とナッシュ均衡	
		10-3	クールノー均衡	
第11章	不確実性		導入	
		11-1	不確実性と期待効用	
		11-2	リスクと保険	
		11-3	不完全情報と市場	
第12章	市場と政府の役割		導入	
		12-1	市場の失敗	
		12-2	外部効果	
		12-3	公共財	
		12-4	政府の介入	
理解度チェック4				
試 験				○「試験」 レポート試験は6月13日～6月20日まで が、出題及び提出期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。
受講後アンケート				6月13日～6月23日がアンケート回答期間になります。
復習期間				試験終了後の6月21日～6月23日の間は全章の復習期間にしてください。

科目名	国際経済論	開講単位数
担当講師名	陸 亦 群	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

	章番号	章名	項番号	項名	受講期間	
		表紙			○本講座は4つのパート、12章で構成されています。また、それぞれのパートには学修期間が設定されています。○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。	
世界経済の発展	第1章	世界経済の発展と構造変化		導入	○学修期間 1章～4章 4月16日～5月2日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。 ○「理解度チェック1」 解答期限は5月2日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
			1-1	世界経済の生成と発展		
			1-2	第一次世界大戦前の世界経済		
			1-3	両対戦間期の世界経済		
				1-4		第1章 自己点検
	第2章	戦後の世界経済の発展とその特徴		導入		
			2-1	生産と貿易の急速な回復と発展		
			2-2	国際経済関係の基本的変化		
			2-3	国際経済協力の新展開		
			2-4	戦後世界経済の発展とその主要特徴		
				2-5		第2章 自己点検
	第3章	経済体制と経済構造の変質		導入		
			3-1	IMF・GATT体制の変質		
			3-2	世界経済の相互依存性の増大		
			3-3	南北問題の変質と南々問題		
				3-4		第3章 自己点検
第4章	1990年代以降の世界経済の変貌		導入			
		4-1	市場化とグローバリゼーションの進展			
		4-2	WTOの発足と地域主義の盛行			
		4-3	中国その他新興工業地域の台頭とその衝撃			
			4-4	第4章 自己点検		
理解度チェック1						
国際貿易の基礎理論	第5章	伝統的貿易理論		導入	○学修期間 5章～7章 5月3日～5月16日までに学修した上で理解度チェック2を期間内で受けて下さい。 ○「理解度チェック2」 解答期限は5月16日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
			5-1	「もの」と「かね」の2つの側面		
			5-2	国際貿易の基礎		
			5-3	伝統的(古典派)貿易理論		
				5-4		第5章 自己点検
	第6章	新古典派の貿易理論		導入		
			6-1	要素賦存と国際貿易		
			6-2	ヘクシャー＝オリーンの定理		
			6-3	新古典派理論の精緻化		
				6-4		第6章 自己点検
	第7章	近代的貿易理論		導入		
			7-1	レオンティエフの逆説		
			7-2	近代的貿易理論		
7-3			近代貿易理論の特徴			
			7-4	第7章 自己点検		
理解度チェック2						
国際貿易の純粋理論分析	第8章	国際貿易の純粋理論による説明 その1		導入	○学修期間 8章～9章 5月17日～5月30日までに学修した上で理解度チェック3を期間内で受けて下さい。 ○「理解度チェック3」 解答期限は5月30日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
			8-1	貿易利益に関する部分均衡分析		
			8-2	国際貿易における一般均衡分析モデルの基礎		
				8-3		第8章 自己点検
	第9章	国際貿易の純粋理論による説明 その2	9-1	自由貿易均衡における貿易利益の発生		
			9-2	要素の成長と貿易の変化		
9-3			第9章 自己点検			
理解度チェック3						
国際貿易の政策論	第10章	関税と経済厚生		導入	○学修期間 10章～12章 5月31日～6月13日までに学修した上で理解度チェック4を受けて下さい。 ○「理解度チェック4」 解答期限は6月13日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
			10-1	国際貿易政策の目的と手段		
			10-2	関税の基本分析		
				10-3		第10章 自己点検
	第11章	輸出入政策と管理貿易	11-1	輸出政策		
			11-2	輸入政策		
			11-3	第11章 自己点検		
	第12章	自由貿易と保護貿易	12-1	自由貿易と保護貿易		
			12-2	自由貿易の前提と保護貿易の論拠		
			12-3	産業保護と発展途上国		
12-4			第12章 自己点検			
理解度チェック4						
試 験					○「試験」 レポート試験は6月14日～6月21日まで が、出題及び提出期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。	
受講後アンケート					6月14日～6月23日がアンケート回答期間になります。	
復習期間					試験終了後の6月22日～6月23日は全章の復習期間にしてください。	

科目名	情報概論	開講単位数
担当講師名	久東 義典	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	節名	項番号	項名	受講期間
	表紙			○本講座は4つのパート、12章で構成されています。また、それぞれのパートには学修期間が設定されています。○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。
第1章	コンピュータの構造		導入	○学修期間 1章～3章 4月16日～4月30日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。 ○「理解度チェック1」 解答期限は4月30日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		1-1	コンピュータの構成要素	
		1-2	パソコンの内部構成	
		1-3	記憶装置の特徴	
		1-4	半導体メモリ	
		1-5	ハードディスク	
		1-6	CPU	
1-7	練習問題			
第2章	CPUの動作原理		導入	
		2-1	論理素子の歴史	
		2-2	論理素子の動作原理	
		2-3	論理回路	
		2-4	CPUの動作	
2-5	練習問題			
第3章	演算処理		導入	
		3-1	基数	
		3-2	2進数と10進数の変換	
		3-3	桁数多い足し算	
		3-4	負の表現	
		3-5	かけ算、割り算	
		3-6	数学関数	
3-7	練習問題			
理解度チェック1				
第4章	情報量		導入	○学修期間 4章～6章 5月1日～5月14日までに学修した上で理解度チェック2を期間内で受けて下さい。 ○「理解度チェック2」 解答期限は5月14日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		4-1	情報量	
		4-2	情報量の単位	
		4-3	英文字の情報量	
		4-4	日本語の情報量	
		4-5	文字コード	
4-6	練習問題			
第5章	マルチメディア表現		導入	
		5-1	MIDI楽曲情報	
		5-2	音声情報	
		5-3	静止画像	
		5-4	動画像	
5-5	練習問題			
第6章	データ通信		導入	
		6-1	通信の情報量	
		6-2	文字情報圧縮	
		6-3	音声情報圧縮	
		6-4	画像情報圧縮	
		6-5	動画像情報圧縮	
		6-6	誤り検出・訂正	
6-7	練習問題			
理解度チェック2				
第7章	オペレーティングシステム		導入	○学修期間 7章～9章 5月15日～5月28日までに学修した上で理解度チェック3を期間内で受けて下さい。 ○「理解度チェック3」 解答期限は5月28日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		7-1	オペレーティングシステムとは	
		7-2	OSの機能	
		7-2	OSの種類	
7-3	練習問題			
第8章	表計算		導入	
		8-1	表計算ソフトとは	
		8-2	データ入力、編集	
		8-3	関数利用	
		8-4	式の利用	
		8-5	論理式	
		8-6	グラフ作成	
8-7	練習問題			
第9章	データベース理論		導入	
		9-1	データベースとは	
		9-2	データベースの表現法	
		9-3	関係的表現のデータ操作	
9-4	練習問題			
理解度チェック3				
第10章	データベース記述		導入	○学修期間 10章～12章 5月29日～6月11日までに学修した上で理解度チェック4を受けて下さい。 ○「理解度チェック4」 解答期限は6月11日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		10-1	SQLとは	
		10-2	SQLの基本構文	
		10-3	条件検索	
		10-4	並べ替え	
		10-5	結合	
10-6	練習問題			
第11章	ソフトウェアの基礎		導入	
		11-1	プログラミング言語	
		11-2	プログラムの内部動作	
		11-3	高級言語の基本処理	
		11-4	オブジェクト指向	
11-5	練習問題			
第12章	アルゴリズム		導入	
		12-1	アルゴリズム	
		12-2	フローチャート	
		12-3	ソーティング	
		12-4	ヒューマンインタフェースの設計	
12-5	練習問題			
理解度チェック4				
試験				○「試験」 レポート試験は6月12日～6月19日までが、出題及び提出期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。
受講後アンケート				6月12日～6月23日がアンケート回答期間になります。
復習期間				試験終了後の6月20日～6月23日の間は全章の復習期間にしてください。

科目名	商学総論	開講単位数
担当講師名	雨宮 史卓	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	項番号	項名	受講期間	
	表紙			○本講座は4つのパート、12章で構成されています。また、それぞれのパートには学修期間が設定されています。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。	
第1章	商業の概念	1-1	(導入)教員紹介	○学修期間 1章～3章 4月16日～5月2日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。 ○「理解度チェック1」 解答期限は5月2日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		1-2	(導入)商業とは何でしょうか		
		1-3	主な商業学説		
		1-4	商業概念の二義		
		1-5	商業の関連用語		
第2章	流通の研究对象と研究方法	2-1	(導入)研究对象と伝統的研究方法		
		2-2	商業の研究对象		
		2-3	伝統的研究方法		
		2-4	二つの研究方法を認める考え方		
第3章	現代の研究手法	3-1	(導入)現代の研究手法		
		3-2	現代の研究手法		
理解度チェック1					
第4章	流通の生成発展	4-1	(導入)商業の移転	○学修期間 4章～6章 5月3日～5月16日までに学修した上で理解度チェック2を期間内で受けて下さい。 ○「理解度チェック2」 解答期限は5月16日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		4-2	自給自足経済		
		4-3	交換経済		
		4-4	市場経済		
		4-5	商業排除傾向		
第5章	現代の流通特性	5-1	(導入)流通特性		
		5-2	現代の流通特性(1)		
		5-3	現代の流通特性(2)		
第6章	流通の取引対象	6-1	(導入)商品とは何か		
		6-2	流通における商品概念		
		6-3	商品の分類方法		
理解度チェック2					
第7章	商業研究の潮流	7-1	(導入)商業研究	○学修期間 7章 5月17日～5月30日までに学修した上で理解度チェック3を期間内で受けて下さい。 ○「理解度チェック3」 解答期限は5月30日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		7-2	欧州における商業の研究		
		7-3	アメリカにおけるマーケティングの研究		
		7-4	わが国における商業の研究		
第8章	流通機能の意義と諸学者の機能分析	8-1	(導入)機能分析		
		8-2	流通機能の意義		
		8-3	諸学者の流通機能分類		
第9章	需給統一機能	9-1	(導入)需給統一機能		○学修期間 8章～12章 5月31日～6月13日までに学修した上で理解度チェック4を受けて下さい。 ○「理解度チェック4」 解答期限は6月13日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		9-2	需給統一の意義		
		9-3	需要情報の収集		
		9-4	商品調節		
		9-5	供給販売情報の伝達		
		9-6	売買取引の成立		
第10章	物的流通機能	10-1	(導入)物流とは何か		
		10-2	物的流通の意義		
		10-3	物流の関連用語		
		10-4	物流の経済的機能		
第11章	物流システム化策	11-1	(導入)物流機能		
		11-2	物流システム化の意義とシステム化策		
		11-3	ユニットロード・システム		
第12章	資本的機能	12-1	(導入)資本的機能		
		12-2	金融的機能		
		12-3	保険的機能		
理解度チェック4					
試 験				○「試験」 レポート試験は6月14日～6月21日まで が、出題及び提出期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。	
受講後アンケート				6月14日～6月23日がアンケート回答期間になります。	
復習期間				試験終了後の6月22日～6月23日の間は全章の復習期間にしてください。	

科目名	経営学	単位
担当教員名	高橋 淑郎	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間
	表紙			○本講座は4つのパート、12章で構成されています。また、それぞれのパートには学修期間が設定されています。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。
第1章	経営学とはどのような学問か		導入	○学修期間 1章～3章 4月16日～5月1日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。 ○「理解度チェック1」 解答期限は5月1日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		1-1	経営学を学ぶ意味	
		1-2	経営学の研究対象・学的性格・研究方法	
			自己点検	
第2章	現代産業社会の特質		導入	
		2-1	グローバリゼーション	
		2-2	経済のサービス化・ソフト化と情報・知識集約化社会	
		2-3	地球環境問題	
		2-4	少子・高齢化社会	
		2-5	価値観・勤労観・ライフスタイルの変化	
	自己点検			
第3章	企業・会社の概念と形態		導入	
		3-1	企業・会社とは何か	
		3-2	会社の諸形態	
			自己点検	
理解度チェック1				
第4章	企業における所有・経営・支配の関係		導入	○学修期間 4章～6章 5月2日～5月15日までに学修した上で理解度チェック2を期間内で受けて下さい。 ○「理解度チェック2」 解答期限は5月15日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		4-1	現代企業における所有・経営・支配	
		4-2	コーポレートガバナンス	
			自己点検	
第5章	企業集団とグループ経営		導入	
		5-1	企業結合の論理	
		5-2	企業集団	
		5-3	グループ経営	
	自己点検			
第6章	企業目的と経営目標		導入	
		6-1	企業目的	
		6-2	現代企業の経営目標	
			自己点検	
理解度チェック2				
第7章	経営戦略(I) 経営戦略の意義と体系・タイプ		導入	○学修期間 7～9章 5月16日～5月29日までに学修した上で理解度チェック3を期間内で受けて下さい。 ○「理解度チェック3」 解答期限は5月29日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		7-1	経営戦略の意義と体系	
		7-2	事業構成戦略	
		7-3	経営戦略のタイプ	
	自己点検			
第8章	経営戦略(II) 資源展開戦略, 競争戦略, 組織間関係戦略		導入	
		8-1	資源展開戦略	
		8-2	競争戦略	
		8-3	組織間関係戦略	
	自己点検			
第9章	経営組織		導入	
		9-1	企業組織のデザイン	
		9-2	企業組織の諸形態	
			自己点検	
理解度チェック3				
第10章	経営組織の理論		導入	○学修期間 10章～12章 5月30日～6月12日までに学修した上で理解度チェック4を受けて下さい。 ○「理解度チェック4」 解答期限は6月12日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		10-1	官僚制組織の論理と病理	
		10-2	近代組織論	
		10-3	コンティンジェンシー理論	
		10-4	知識創造モデル	
	自己点検			
第11章	経営管理		導入	
		11-1	企業経営の職能	
		11-2	マネジメントの機能と階層	
		11-3	経営計画と統制	
	自己点検			
第12章	企業文化		導入	
		12-1	企業文化の意義	
		12-2	企業文化のタイプ	
		12-3	企業文化の変革	
	自己点検			
理解度チェック4				
試験				○「試験」 レポート試験は6月13日～6月20日まで が、出題及び提出期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。
受講後アンケート				6月13日～6月23日がアンケート回答期間になります。
復習期間				試験終了後の6月21日～6月23日の間は全章の復習期間にしてください。

科目名	簿記論 I	開講単位数
担当講師名	村井 秀樹	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	項番号	項名	受講期間	
	表紙			○本講座は4つのパート、12章で構成されています。また、それぞれのパートには学修期間が設定されています。○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。	
第1章	簿記の概要		導入	○学修期間 1章～3章 4月16日～4月30日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。 ○「理解度チェック1」 解答期限は4月30日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		1-1	簿記の位置づけ		
		1-2	簿記の歴史		
第2章	複式簿記の構造	1-3	簿記の体系 自己点検		
			導入		
		2-1	会計公準		
第3章	複式簿記一巡の手続き	2-2	資産・負債・資本と貸借対照表		
		2-3	費用・収益と損益計算書 自己点検		
		3-1	導入 取引		
		3-2	仕訳と勘定 自己点検		
理解度チェック1					
第4章	商品		導入		○学修期間 4章～6章 5月1日～5月14日までに学修した上で理解度チェック2を期間内で受けて下さい。 ○「理解度チェック2」 解答期限は5月14日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		4-1	記帳方法		
		4-2	仕入諸掛り・発送費・返品・値引などの処理		
		4-3	仕入帳と売上帳		
第5章	現金・預金	4-4	商品有高帳 自己点検		
			導入		
		5-1	現金の範囲		
		5-2	現金出納帳		
		5-3	当座預金		
		5-4	当座預金出納帳		
		5-5	現金過不足		
第6章	売掛金と買掛金	5-6	小口現金 当座借越 自己点検		
		5-7	自己点検		
			導入		
		6-1	売掛金		
		6-2	買掛金		
		6-3	貸倒れの処理		
		6-4	売掛金・買掛金以外の債権・債務 自己点検		
理解度チェック2					
第7章	有価証券		導入	○学修期間 7～9章 5月15日～5月28日までに学修した上で理解度チェック3を期間内で受けて下さい。 ○「理解度チェック3」 解答期限は5月28日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		7-1	有価証券の範囲		
		7-2	有価証券の分類と評価		
第8章	受取手形・支払手形	7-3	有価証券の売買 自己点検		
			導入		
		8-1	受取手形・支払手形		
		8-2	約束手形		
		8-3	為替手形		
		8-4	手形の裏書譲渡・割引		
第9章	固定資産	8-5	受取手形記入帳・支払手形記入帳		
		8-6	手形貸付金・手形借入金 自己点検		
			導入		
		9-1	有形固定資産の購入		
		9-2	減価償却		
		9-3	有形固定資産の売却 自己点検		
理解度チェック3					
第10章	伝票		導入	○学修期間 10章～12章 5月29日～6月11日までに学修した上で理解度チェック4を受けて下さい。 ○「理解度チェック4」 解答期限は6月11日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		10-1	伝票の意味と種類		
		10-2	仕訳伝票		
第11章	決算	10-3	三伝票制 自己点検		
			導入		
		11-1	決算の意味		
		11-2	決算の手順		
		11-3	試算表の作成		
		11-4	棚卸表の作成		
		11-5	決算整理事項		
第12章	総まとめ	11-6	精算表の作成		
		11-7	財務諸表作成手続き 自己点検		
		12-1	導入 決算整理事項		
		12-2	精算表 自己点検		
理解度チェック4					
試 験				○「試験」 レポート試験は6月12日～6月19日までが、出題及び提出期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。	
受講後アンケート				6月12日～6月23日がアンケート回答期間になります。	
復習期間				試験終了後の6月20日～6月23日の間は全章の復習期間にしてください。	

科目名	貿易論	開講単位数
担当講師名	松原 聖	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間
	表紙			○本講座は4つのパート、12章で構成されています。また、それぞれのパートには学修期間が設定されています。○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。
第1章	データで見る日本の貿易		導入(はじめに)	○学修期間 1章～4章 4月16日～5月1日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。 ○「理解度チェック1」 解答期限は5月1日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		1-1	地域(国)別輸出入	
		1-2	主要商品別輸出	
		1-3	主要商品別輸入	
		1-4	なぜ外国と貿易をするのか	
第2章	比較優位の原理 I		自己点検	
			導入(はじめに)	
		2-1	絶対優位	
		2-2	比較優位	
第3章	需要と供給		自己点検	
			導入(需要と供給)	
		3-1	需要(量)、供給(量)とはなにか	
		3-2	需要(量)、供給(量)の決定要因	
		3-3	均衡価格、均衡取引量の決定	
第4章	比較優位の原理 II ヘクシャー・オリーの貿易理論	3-4	均衡の変化の分析	
			自己点検	
			導入(はじめに)	
		4-1	要素賦存量とヘクシャー・オリーの定理	
		4-2	ヘクシャー・オリーの定理	
		4-3	要素価格均等化の定理	
		4-4	リブチンスキーの定理	
4-5	ストルパー・サミュエルソンの定理			
4-6	自由貿易と経済発展			
			自己点検	
理解度チェック1				
第5章	自由貿易と保護主義		導入(はじめに)	○学修期間 5章～7章 5月2日～5月15日までに学修した上で理解度チェック2を期間内で受けて下さい。 ○「理解度チェック2」 解答期限は5月15日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		5-1	幼稚産業保護の議論	
		5-2	戦略的貿易政策	
		5-3	産業転換に伴う調整コスト	
		5-4	政治的決定から来る制約	
第6章	貿易の流れ(貿易実務入門)①		自己点検	
			導入(はじめに)	
		6-1	貿易の基本的な流れ	
		6-2	保険の仕組み	
		6-3	種々の建値	
		6-4	海上保険の仕組み	
		6-5	貿易保険の種類	
6-6	運輸の役割			
第7章	貿易の流れ(貿易実務入門)②		自己点検	
			導入(貿易手続きの電子化)	
		7-1	船荷証券の危機	
		7-2	ようやく始まった電子化	
7-3	貿易実務の学び方			
			自己点検	
理解度チェック2				
第8章	国際収支①		導入(はじめに)	○学修期間 8～9章 5月16日～5月29日までに学修した上で理解度チェック3を期間内で受けて下さい。 ○「理解度チェック3」 解答期限は5月29日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		8-1	国際収支表の内容・構成	
		8-2	経常収支	
		8-3	資本収支	
		8-4	国際収支表のその他の項目といくつかの注意	
		8-5	日本の経常収支の長期的な動向	
第9章	国際収支②		自己点検	
		9-1	経常収支と国民所得勘定	
		9-2	国内需要との関係(アブソープション・アプローチ)	
		9-3	対外純資産の増減	
		9-4	国全体の資金需要(貯蓄・投資バランス)	
			自己点検	
理解度チェック3				
第10章	為替レートと外国為替市場①		導入(国際決済と外国為替)	○学修期間 10章～12章 5月30日～6月12日までに学修した上で理解度チェック4を受けて下さい。 ○「理解度チェック4」 解答期限は6月12日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		10-1	外国為替市場とは	
		10-2	成長を遂げる外国為替ビジネス	
		10-3	日本における外国為替取引の自由化	
		10-4	為替リスク	
		10-5	為替リスクとは何か	
		10-6	為替リスク回避の手段	
		10-7	直先レートと金利裁定	
第11章	為替レートと外国為替市場②		自己点検	
		11-1	為替レートの貿易収支調整機能とその限界	
		11-2	産業部門別の円高インパクトの違い	
		11-3	輸出産業へのインパクト	
		11-4	輸入産業、国内サービス産業へのインパクト	
		11-5	円高阻止の諸政策の問題点	
第12章	海外直接投資と貿易構造		自己点検	
		12-1	重要性が増す直接投資	
		12-2	プロダクト・サイクル論	
		12-3	取引費用に基づく直接投資の理論	
		12-4	貿易に影響する直接投資	
			自己点検	
理解度チェック4				
試験				○「試験」 レポート試験は6月13日～6月20日まで が、出題及び提出期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。
受講後アンケート				6月13日～6月23日がアンケート回答期間になります。
復習期間				試験終了後の6月21日～6月23日は全章の復習期間にしてください。

広告論 MA メディア授業計画

科目名	広告論MA	単位
担当 教員名	雨宮史卓	2

章番号	章名	節番号	節名	受講期間
	表紙			○本講座は3つのパート、15章で構成されています。 また、それぞれのパートには学修期間が設定されています。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であればいつでも可能ですが、 理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなります ので十分注意してください。
第1章	マーケティングとプロモーションの関係	1節	マーケティングの4P	○学修期間 1章～5章 4月16日～5月17日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。 ○「理解度チェック1」 解答期限は5月17日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		2節	商品、製品、サービスの関係性 マーチャライジング(商品化)とは	
		3節	商品の類型製品(有形財)の類型	
			自己点検	
第2章	サービスと価格	1節	サービス(無形財)の特徴サービスの種類	
		2節	サービスの評価基準	
		3節	価格とは	
		4節	心理的な価格付けと参照価格	
			自己点検	
第3章	流通戦略	1節	流通の種類 小売業の分類と形態	
		2節	小売の輪	
		3節	真空地帯の仮説	
		4節	卸売業と取引数削減の原理	
			自己点検	
第4章	プロモーション戦略	1節	広義と狭義のプロモーションの関係性	
		2節	プロモーション戦略の種類	
		3節	Pull戦略とPush戦略	
			自己点検	
第5章	プロモーションの種類1	1節	広告の定義	
		2節	広告の役割	
		3節	広告の基本的過程～広告目的/ターゲット	
		4節	広告の基本的過程～伝達方法(広告の種類)	
			自己点検	
理解度チェック1				
第6章	プロモーションの種類2	1節	広告の基本的過程～広告効果その1	○学修期間 6章～10章 5月18日～5月31日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。 ○「理解度チェック2」 解答期限は5月31日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		2節	広告の基本的過程～広告効果その2	
		3節	人的販売PR活動	
		4節	狭義の販売促進	
			自己点検	
第7章	広告戦略1	1節	広告戦略の種類	
		2節	コモディティ商品のブランド化～コモディティの定義	
		3節	コモディティ商品のブランド化～コモディティ商品の特徴	
		4節	コモディティ商品のブランド化～ブランドコンセプトの分散	
		5節	コモディティ化	
			自己点検	
第8章	広告戦略2	1節	高価格商品の広告戦略その1	
		2節	高価格商品の広告戦略その2	
		3節	消費者へのシグナルと商品ベネフィットその1	
		4節	消費者へのシグナルと商品ベネフィットその2	
			自己点検	
第9章	ブランド戦略	1節	ブランドの定義	
		2節	ブランドの種類	
		3節	ブランド概念の変遷	
		4節	ブランド・エクイティ	
			自己点検	
第10章	ブランド・マーケティング	1節	ブランド・エクイティを考慮したマネジメント	
		2節	ブランド拡張の考え方その1	
		3節	ブランド拡張の考え方その2	
			自己点検	
理解度チェック2				
第11章	経験価値と総称ブランド	1節	経験価値とは	○学修期間 11章～15章 6月1日～6月14日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。 ○「理解度チェック1」 解答期限は6月14日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		2節	経済価値としての経験価値	
		3節	ブランド概念と総称ブランド	
		4節	総称ブランドの活用	
			自己点検	
第12章	ストアのブランド概念	1節	食品に対する消費者意識(フード・ビジネスにおける食品の分類)	
		2節	フード・ビジネスの変遷その1	
		3節	フード・ビジネスの変遷その2	
		4節	ストア・ブランド・エクイティ	
			自己点検	
第13章	消費者行動1	1節	マズロー欲求五段階説	
		2節	日本市場の発展とマズロー欲求五段階説	
		3節	顧客購買への心理的プロセス	
		4節	消費行動と購買行動 消費者行動と広告・プロモーションの役割	
			自己点検	
第14章	消費者行動2	1節	プロスペクト理論その1	
		2節	プロスペクト理論その2	
		3節	採用者カテゴリーその1	
		4節	採用者カテゴリーその2(ペネトレーション戦略)	
			自己点検	
第15章	広告論MAの総復習	1節	マーケティングとプロモーション	
		2節	プロモーションと広告	
		3節	広告についてその1	
		4節	広告についてその2	
		5節	ブランドについて	
			自己点検	
理解度チェック3				
試験				○「試験」 レポート試験は6月15日～6月22日まで が、出題及び提出期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。
受講後アンケート				6月15日～6月23日がアンケート回答期間になります。
復習期間				試験終了後の6月23日は全章の復習期間にしてください。

科目名	現代教職論	開講単位数
担当講師名	古賀 徹	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間
	表紙			○本講座は4つのパート、12章で構成されています。また、それぞれのパートには学修期間が設定されています。○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば、何度でも可能ですが、理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので注意してください。
第1章	教師に求められる資質・能力とは何か		導入	○学修期間 1章～3章 4月16日～5月2日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。 ○「理解度チェック1」 解答期限は5月2日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		1-1	教員免許(資格)の取得	
		1-2	教師に求められる能力	
		1-3	教師の成長過程	
			自己点検	
第2章	教師の仕事―教科指導・生活指導・学級経営―		導入	
		2-1	校務分掌	
		2-2	指導の2本柱(教科指導・生活指導)	
		2-3	学級指導・学級経営	
			自己点検	
第3章	子ども(生徒)とのかかわり―生徒理解の方法、わかる授業、授業の前提条件―		導入	
		3-1	様々な学修形態	
		3-2	生徒理解の方法―他者を理解する・他者のいうことを理解する―	
		3-3	「わかりかた」―知識(情報)と感覚という「わかりかた」	
		3-4	授業の前提条件―コミュニケーションの重要性―	
			自己点検	
理解度チェック1				
第4章	様々な集団への対応①―集団の活動を通じて学んでいく生徒たち		導入	○学修期間 4章～7章 5月3日～5月16日までに学修した上で理解度チェック2を期間内で受けて下さい。 ○「理解度チェック2」 解答期限は5月16日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		4-1	集団へのかかわり方	
		4-2	授業における集団指導の難しさ	
		4-3	教育改革の構想と「総合的な学修の時間」	
			自己点検	
第5章	様々な集団への対応②―集団指導・グループ学修の方法論	5-1	学修の場としての集団形成(1)	
		5-2	学修の場としての集団形成(2)	
		5-3	学修の場としての集団形成(3)	
			自己点検	
第6章	最近の子ども事情①(非行・いじめ・ストレス)		導入	
		6-1	非行の状況、様態、原因	
		6-2	問題行動の背景要因	
		6-3	いじめの実態	
			自己点検	
第7章	最近の子ども事情②(不登校への対応)	7-1	不登校という問題	
		7-2	不登校の児童・生徒数	
		7-3	不登校児童のタイプ	
		7-4	不登校への対応策	
		7-5	不登校への対応の考え方	
		7-6	一地域の不登校の調査結果	
			自己点検	
理解度チェック2				
第8章	教員養成の歴史①		導入	○学修期間 8～10章 5月17日～5月30日までに学修した上で理解度チェック3を期間内で受けて下さい。 ○「理解度チェック3」 解答期限は5月30日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		8-1	3つの教育改革	
		8-2	近代教育創設期	
		8-3	学制期	
		8-4	明治10年代における変革	
			自己点検	
第9章	教員養成の歴史②	9-1	歴史的変遷	
		9-2	戦時体制化	
		9-3	戦後教育	
		9-4	まとめ	
			自己点検	
第10章	世界の教員養成		導入	
		10-1	米国の教育の特色	
		10-2	英国の教育の特色	
		10-3	まとめ	
			自己点検	
理解度チェック3				
第11章	教員に関する法令―地位、身分、研修、免許更新制―		導入	○学修期間 11章～12章 5月31日～6月13日までに学修した上で理解度チェック4を受けて下さい。 ○「理解度チェック4」 解答期限は6月13日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		11-1	教員に関する法令	
		11-2	教員研修	
		11-3	教員免許更新制	
		11-4	教員養成機関に求められるもの	
			自己点検	
第12章	教室に立つために―教育実習と学修指導案の構成		導入	
		12-1	教育実習 ―教職課程の最終関門	
		12-2	授業のつくりかた ―学修指導案の構成	
		12-3	おわりに	
			自己点検	
理解度チェック4				
試験				○「試験」 レポート試験は6月14日～6月21日までが、出題及び提出期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。
受講後アンケート				6月14日～6月23日がアンケート回答期間になります。
復習期間				試験終了後の6月22日～6月23日の間は全章の復習期間にしてください。

科目名	教育原論／教育の思想	開講単位数
担当講師名	北野秋男	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間	
	表紙			○本講座は3つのパート、12章で構成されています。また、それぞれのパートには学修期間が設定されています。○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば、何度でも可能ですが、理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので注意してください。	
第1章	なぜ教育思想を学ぶのか		導入	○学修期間 1章～3章 4月16日～5月3日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。 ○「理解度チェック1」 解答期限は5月3日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		1-1	授業の課題と構成		
		1-2	近代教育の発展と限界		
		1-3	近代教育のパラドックス		
			自己点検		
第2章	コメニウスの教授学 ―斉教授の方法―		導入		
		2-1	コメニウスへの邂逅		
		2-2	コメニウス		
		2-3	自然的方法に立つ―斉教授		
			2-4		コメニウスの評価と限界
			自己点検		
第3章	ロック自律論 ―人間の理性による自律―		導入		
		3-1	対立する人間観		
		3-2	人間の「理性」と「自律」		
		3-3	家庭教育論		
			3-4	近代教育思想の原型	
			自己点検		
理解度チェック1					
第4章	ルソーの市民教育 ―子どもの発見―		導入	○学修期間 4章～7章 5月4日～5月17日までに学修した上で理解度チェック2を期間内で受けて下さい。 ○「理解度チェック2」 解答期限は5月17日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		4-1	子どもの人権		
		4-2	ルソー		
		4-3	自然人の教育		
			4-4		特色・影響
			自己点検		
第5章	ペスタロッチの人間教育 ―直観教授の確立―		導入		
		5-1	人間教育		
		5-2	教育思想		
		5-3	教育史上の意義と影響		
			自己点検		
第6章	ヘルバルトの科学的教育学 ―教授過程の定型化―		導入		
		6-1	ヘルバルトの課題		
		6-2	全体の見取図―科学的教育学		
		6-3	評価・影響		
			自己点検		
第7章	フレーベルの幼児教育 ―幼稚園の創設―		導入		
		7-1	今日の幼稚園		
		7-2	フレーベル		
		7-3	フレーベル幼稚園の普及・評価		
			自己点検		
理解度チェック2					
第8章	マンの公教育普及論 ―教育を受ける権利思想―		導入	○学修期間 8～12章 5月18日～6月14日までに学修した上で理解度チェック3を期間内で受けて下さい。 ○「理解度チェック3」 解答期限は6月14日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		8-1	自然権思想とコモン・スクール		
		8-2	公教育の有用性と功利性		
		8-3	愛による教育		
			8-4		公教育思想の再検討
			自己点検		
第9章	デューイの新教育思想 ―児童中心の教育―		導入		
		9-1	新教育運動の起源		
		9-2	児童中心の教育思想		
		9-3	新教育運動の継承と発展		
			自己点検		
第10章	ニールの自由主義教育論 ―フリー・スクールの創設者―		導入		
		10-1	ニールの遍歴と思想形成		
		10-2	サマーヒルの挑戦		
		10-3	フリー・スクール運動の世界的な影響		
			自己点検		
第11章	ブーバーの教育的出会い ―教師と子どもとの関係―		導入		
		11-1	教師論		
		11-2	教育的出会いの特徴		
		11-3	教育的出会いの展開		
			11-4	まとめ	
			自己点検		
第12章	イリイチの脱学校論 ―自由な学習機会の保障―		導入		
		12-1	イリイチの思想形成		
		12-2	「隠されたカリキュラム」への批判		
		12-3	脱学校論		
			自己点検		
理解度チェック3					
試 験				○「試験」 レポート試験は6月15日～6月22日までが、出題及び提出期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。	
受講後アンケート				6月15日～6月23日がアンケート回答期間になります。	
復習期間				試験終了後の6月23日は全章の復習期間にしてください。	

教育制度論M 授業計画

科目名	教育制度論	開講単位数
担当講師名	北野 秋男	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間
	表紙		「教育制度論」のねらいと課題	○本講座は3つのパート、12章で構成されています。また、それぞれのパートには学修期間が設定されています。○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば、何度でも可能ですが、理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので注意してください。
第1章	教育制度の理念と構造		導入	○学修期間 1章～5章 4月16日～5月3日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。 ○「理解度チェック1」 解答期限は5月3日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		1-1	我が国の経済成長と教育制度	
		1-2	「臨教審」の教育改革論理	
		1-3	教育制度のパラダイム転換	
			自己点検	
第2章	学校の制度と組織		導入	
		2-1	就学義務と就学義務違反	
		2-2	通学区域制度と学校の統廃合	
		2-3	学校制度改革の問題点	
			自己点検	
第3章	教室内の制度と組織		導入	
		3-1	学級編成と教員問題	
		3-2	学校内・学級内の諸制度	
		3-3	我が国の学校文化の課題	
			自己点検	
第4章	学校歴偏重から生涯学習への移行		導入	
		4-1	教育構造と産業構造の変化	
		4-2	資格と職業選択	
		4-3	生涯学習社会への移行	
			自己点検	
第5章	私立学校の制度と組織		導入	
		5-1	私立学校とは	
		5-2	私立学校教育の特色	
		5-3	「私学志向」の社会的背景	
			自己点検	
理解度チェック1				
第6章	戦後日本の公教育政策・制度		導入	○学修期間 6章～9章 5月4日～5月17日までに学修した上で理解度チェック2を期間内で受けて下さい。 ○「理解度チェック2」 解答期限は5月17日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		6-1	戦後の教育改革	
		6-2	経済界からの教育要求と中央教育審議会答申	
			自己点検	
第7章	日本の中央・地方教育行政		導入	
		7-1	文部科学省の組織と役割	
		7-2	教育委員会の組織と役割	
		7-3	都道府県・市町村教育委員会の権限	
			自己点検	
第8章	アメリカの教育制度		導入	
		8-1	アメリカの教育制度の特色	
		8-2	アメリカの学校選択制度	
		8-3	チャーター・スクール運動の登場	
			自己点検	
第9章	アジアの教育制度		導入	
		9-1	中国の教育制度と教育改革	
		9-2	韓国の教育制度と教育改革	
		9-3	東南アジアにおける識字教育	
			自己点検	
理解度チェック2				
第10章	ジェンダー問題と女子教育		導入	○学修期間 10～12章 5月18日～6月14日までに学修した上で理解度チェック3を期間内で受けて下さい。 ○「理解度チェック3」 解答期限は6月14日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		10-1	学校文化とジェンダー	
		10-2	男女共同参画社会の実現に向けて	
			自己点検	
第11章	教育情報と情報公開制度		導入	
		11-1	教育問題と情報公開制度	
		11-2	教育情報とは何か	
		11-3	学校の教育情報の公開	
			11章自己点検	
第12章	我が国の教育制度改革の動向		導入	
		12-1	教委制度の理念と構造	
		12-2	「教育改革国民会議」の提言	
		12-3	わが国の教育制度改革の動向	
			12章自己点検	
理解度チェック3				
試 験				○「試験」 レポート試験は6月15日から6月22日まで が、出題及び提出期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。
受講後アンケート				6月15日～6月23日がアンケート回答期間になります。
復習期間				試験終了後の6月23日は全章の復習期間にしてください。

科目名	特別活動の研究／特別活動論	開講単位数
担当講師名	今泉 朝雄	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間	
	表紙			○本講座は4つのパート、12章で構成されています。また、それぞれのパートには学修期間が設定されています。○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば、何度でも可能ですが、理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので注意してください。	
	講義用ディスカッションボード				
第1章	「特別活動の研究」はどんな科目か、またどうしてそれを学ぶのか		導入	○学修期間 1章～4章 4月16日～4月30日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。 ○「理解度チェック1」 解答期限は4月30日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		1-1	特別活動の研究はどんな科目か		
		1-2	どうして「特別活動の研究」を学ぶのか		
			自己点検		
第2章	教育課程と課外活動(特別活動)の関係		導入		
		2-1	教育課程は何を意味するのか		
		2-2	教育課程はどの領域までを含むか		
		2-3	課外活動の教育的価値とは何か		
			自己点検		
第3章	教育的価値として認められた課外活動の実例(1) -遠足と運動会-		導入		
		3-1	遠足		
		3-2	運動会		
			自己点検		
第4章	教育的価値として認められた課外活動の実例(2) -学芸会と相談会-		導入		
		4-1	学芸会		
		4-2	相談会		
		4-3	まとめ		
			自己点検		
理解度チェック1					
第5章	課外活動(特別活動)の教育課程化とその条件		導入	○学修期間 5章～7章 5月1日～5月14日までに学修した上で理解度チェック2を期間内で受けて下さい。 ○「理解度チェック2」 解答期限は5月14日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		5-1	課外活動の教育課程化		
		5-2	教育課程化の条件		
			自己点検		
第6章	自由研究の新設と特別教育活動への移行		導入		
		6-1	教科課程はどのようにして決まるか		
		6-2	自由研究の新設と性格		
		6-3	自由研究の意義と問題点		
		6-4	特別教育活動への移行		
			自己点検		
第7章	特別活動の成立とその後の歩み		導入		
		7-1	特別活動の成立とその趣旨・理由		
		7-2	課外活動の教育課程化—特別活動の歩み		
			自己点検		
理解度チェック2					
第8章	2008年の学習指導要領の改訂		導入	○学修期間 8章～10章 5月15日～5月28日までに学修した上で理解度チェック3を期間内で受けて下さい。 ○「理解度チェック3」 解答期限は5月28日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		8-1	学習指導要領2008年改訂		
		8-2	改訂の基本方針		
			自己点検		
第9章	特別活動の改訂と目標		導入		
		9-1	特別活動の改訂		
		9-2	特別活動の目標		
			自己点検		
第10章	学級活動の目標・内容・内容の取扱い		導入		
		10-1	学級活動の目標		
		10-2	学級活動の内容		
		10-3	内容の取扱い		
			自己点検		
理解度チェック3					
第11章	生徒会活動の目標・内容・内容の取扱い		導入	○学修期間 11章～12章 5月29日～6月11日までに学修した上で理解度チェック4を期間内で受けて下さい。 ○「理解度チェック4」 解答期限は6月11日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		11-1	生徒会活動の目標		
		11-2	生徒会活動の内容		
		11-3	内容の取扱い		
			自己点検		
第12章	学校行事の目標・内容・内容の取扱い		導入		
		12-1	学校行事の目標		
		12-2	学校行事の内容		
		12-3	内容の取扱い		
			自己点検		
理解度チェック4					
試験					○「試験」 レポート試験は6月12日～6月19日まで が、出題及び提出期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。
受講後アンケート				6月12日～6月23日がアンケート回答期間になります。	
復習期間				試験終了後の6月20日～6月23日は全章の復習期間にしてください。	

科目名	教育の方法・技術論	開講単位数
担当講師名	壽福 隆人	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	項番号	項名	受講期間
	表紙			○本講座は4つのパート、12章で構成されています。また、それぞれのパートには学修期間が設定されています。○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば、何度でも可能ですが、理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので注意してください。
第1章	教育方法学とはどんな学問か		導入	○学修期間 1章～3章 4月16日～5月1日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。 ○「理解度チェック1」 解答期限は5月1日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		1-1	教育方法学	
		1-2	教育方法学の歴史	
		1-3	言語主義批判の系譜	
		1-4	デューイと問題解決学習	
		1-5	ブルーナーと系統学習・構造化論	
1-6	自己点検			
第2章	わが国の教育方法学研究の歴史		導入	
		2-1	ペスタロッチ主義の紹介	
		2-2	ヘルバルト派教授法の導入	
		2-3	大正期の自由主義的教育方法の展開	
		2-4	ファシズムから戦後の改革へ	
2-5	自己点検			
第3章	学校教育とカリキュラム		導入	
		3-1	カリキュラムとは何か	
		3-2	教科内容の編成(「リベラル・アーツ」と「一般教育」)	
		3-3	現代のカリキュラムの類型	
		3-4	学習指導要領とカリキュラム	
3-5	自己点検			
理解度チェック1				
第4章	授業の形態と集団の編成・指導		導入	○学修期間 4章～6章 5月2日～5月15日までに学修した上で理解度チェック2を期間内で受けて下さい。 ○「理解度チェック2」 解答期限は5月15日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		4-1	授業形態の変遷	
		4-2	ドルトン・プラン	
		4-3	ウイネッカ・プラン	
		4-4	イエナ・プラン	
4-5	自己点検			
第5章	授業形態の多様化		導入	
		5-1	バズ学習	
		5-2	完全習得学習	
		5-3	オープン・エデュケーション	
		5-4	チーム・ティーチング	
5-5	自己点検			
第6章	学級編成と学級経営		導入	
		6-1	学級の成立と普及	
		6-2	近代学校における学級の成立	
		6-3	学級経営の進め方	
		6-4	学習・生活指導の場としての学級経営	
6-5	自己点検			
理解度チェック2				
第7章	小集団指導		導入	○学修期間 7章～9章 5月16日～5月29日までに学修した上で理解度チェック3を期間内で受けて下さい。 ○「理解度チェック3」 解答期限は5月29日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		7-1	小集団指導	
		7-2	小集団の編成方法	
		7-3	個人差に応ずる指導	
7-4	自己点検			
第8章	教育の技術とはなにか		導入	
		8-1	教材研究と学習指導案の作成	
		8-2	学習課題の設定と授業の準備	
		8-3	教材研究	
		8-4	学習指導案の作成	
8-5	自己点検			
第9章	授業の展開		導入	
		9-1	導入の工夫と発問の方法	
		9-2	学習反応の処理	
		9-3	授業をつくるために理解しておきたい教育の基本構造	
9-4	自己点検			
理解度チェック3				
第10章	授業の展開を豊かにする物的手段		導入	○学修期間 10章～12章 5月30日～6月12日までに学修した上で理解度チェック4を期間内で受けて下さい。 ○「理解度チェック4」 解答期限は6月12日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
		10-1	古典的教具	
		10-2	視聴覚教育機器の種類とその利用	
		10-3	ニューメディア	
		10-4	「教育工学」の考え方	
10-5	自己点検			
第11章	教育評価		導入	
		11-1	教育評価の目的と構成要素	
		11-2	教育評価の歴史的展開	
		11-3	現代的教育評価	
11-4	自己点検			
第12章	評価の方法		導入	
		12-1	評価法の分類	
		12-2	評価の記録	
		12-3	指導要録と通知表	
		12-4	評価の心理的影響	
12-5	自己点検			
理解度チェック4				
試 験				○「試験」 レポート試験は6月13日～6月20日までが、出題及び提出期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。
受講後アンケート				6月13日～6月23日がアンケート回答期間になります。
復習期間				試験終了後の6月21日～6月23日の間は全章の復習期間にしてください。

科目名	国文学演習 I～VI	開講単位数
担当講師名	近藤 健史	1

章番号	章名	項番号	項名	受講期間
	表紙			
第1章	はじめに		教員紹介	4/16～6/23 ※グループ討論に入る前に受講してください
		1-1	授業のねらいと構成	
第2章	国文学演習入門		(導入)国文学演習入門	
		2-1	基本的手順について	
		2-2	発表の仕方と心得	
		2-3	レジュメの形式について	
		2-4	資料の探し方(万葉集)	
第3章	万葉集入門		(導入)万葉集入門	
		3-1	万葉集の成立と環境	
		3-2	万葉集の名義	
		3-3	時代区分と主な歌人	
		3-4	万葉集の歌の読み方	
		3-5	基本的な参考文献	
第4章	説話歌入門		(導入)説話歌入門	
		4-1	説話歌の概念と歌数	
		4-2	万葉人の結婚について	
第5章	テーマ1 「妻争伝説歌」ではなぜ結婚を拒否するのかについて		教員による課題提示 発表・全体討論	※発表は4/26迄 全体討論は4/27～5/3
第6章	テーマ2 「説話歌の女性は美女か」について		教員による課題提示 発表・全体討論	※発表は5/3迄 全体討論は5/4～5/10
第7章	テーマ3 「虫麻呂に歌われた女性像」について		教員による課題提示 発表・全体討論	※発表は5/10迄 全体討論は5/11～5/17
第8章	テーマ4 「水江浦島児の歌」における「愚人」の意味について		教員による課題提示 発表・全体討論	※発表は5/17迄 全体討論は5/18～5/24
第9章	テーマ5 「真間手児奈伝説歌」における「身をたな知りて」の意味について		教員による課題提示 発表・全体討論	※発表は5/24迄 全体討論は5/25～5/31
第10章	テーマ6 説話歌の成立基盤と系譜について (ア)「菟原処女伝説歌」から森鷗外「生田川」へ		教員による課題提示 全体討論	※発表は5/31迄 全体討論は6/1～6/7
第11章	テーマ7 説話歌の成立基盤と系譜について (イ)「竹取翁歌」から「竹取物語」へ		教員による課題提示 全体討論	※発表は6/7迄 全体討論は6/8～6/14
第12章	テーマ8 説話歌の成立基盤と系譜について (ウ)「水江浦島児の歌」から「浦島物語」へ		教員による課題提示 全体討論	※発表は6/14迄 全体討論は6/15～6/21
レポート試験				提出期間:6/15～6/22
受講後アンケート				6月15日～6月23日がアンケート回答期間になります。
復習期間				6月23日は全章の復習期間としてください。

科目名	哲学演習 I・II	開講単位数
担当講師名	中澤 瞳	2

※理解度チェック(報告課題)及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間
	表紙			○本講座は4つのパート、15章で構成されています。 また、それぞれのパートには学修期間が設定されています。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、課題提出期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。
第1章	哲学演習MAのねらい	1節	哲学演習MAのねらい	4/16~6/23 ※発表1の課題提出を行うまでに受講してください。
		2節	卒業論文制作の道筋1	
		3節	卒業論文制作の道筋2	
		4節	授業の構成	
		5節	課題	
第2章	論文とはどのような文章表現か	1節	論文とはどのような文章表現か	
		2節	論文とはなにか1	
		3節	論文とはなにか2-1	
		4節	論文とはなにか2-2	
第3章	論文の構成	1節	第2章の確認	
		2節	論文の構成:序論	
		3節	論文の構成:本論	
		4節	論文の構成:結論と注と参考文献表	
		5節	論文執筆に必要なもの:問いだし	
第4章	問題と主張と論拠について	1節	問題について	
		2節	問題の立て方1	
		3節	問題の立て方2	
		4節	問題の立て方3	
		5節	主張について1	
		6節	主張について2	
		7節	論拠について1	
		8節	論拠について2	
第5章	発表1(+相互評価) 問題と主張と論拠を作る	1節	課題説明	
		2節	例1	
		3節	例2	
		4節	例3	
		5節	例4	
		6節	例5	
		7節	例6	
発表1 課題提出期間				4/27~5/4
発表1 相互評価シート提出期間				5/7~5/14
第6章	先行研究を調べる	1節	先行研究の重要性	5/5~6/23 ※発表2の課題提出を行うまでに受講して下さい。
		2節	一次文献と二次文献	
		3節	文献の探し方1	
		4節	文献の探し方2	
第7章	説明を考える	1節	説明の方法・定義について	
		2節	比較について	
		3節	分類について	
		4節	例示について	
		5節	言い換えについて	
		6節	付加・転換について	
第8章	アウトラインを作る	1節	アウトラインをどう作るか1-1	
		2節	アウトラインをどう作るか1-2	
		3節	アウトラインをどう作るか2-1	
		4節	アウトラインをどう作るか2-2	
		5節	アウトラインをどう作るか2-3	
		6節	アウトラインをどう作るか2-4	
		7節	アウトラインをどう作るか3-1	
		8節	アウトラインをどう作るか3-2	
第9章	体裁を整える	1節	注とはなにか1	
		2節	注とはなにか2	
		3節	引用文について	
		4節	引用文への加筆について	
		5節	文献表の作り方1	
		6節	文献表の作り方2	
		7節	文献表の作り方3	
		8節	文章の基本的な作法	
第10章	発表2 参考文献表の作成	1節	課題説明	
発表2 課題提出期間				5/17~5/24

科目名	哲学演習 I・II	開講単位数
担当講師名	中澤 瞳	2

※理解度チェック(報告課題)及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間
第11章	パラグラフについて	1節	段落とパラグラフについて1	5/25~6/23 ※発表3の課題提出を行うまでに受講して下さい。
		2節	段落とパラグラフについて2	
		3節	パラグラフの構成1	
		4節	パラグラフの構成2	
		5節	パラグラフの分析	
		6節	読みやすいパラグラフについて考える	
第12章	要約を作る	1節	要約の目的と作り方	
		2節	要約の実践1-1	
		3節	要約の実践1-2	
		4節	要約の実践2-1	
		5節	要約の実践2-2	
第13章	批判的な視点をもつ	1節	批判的な視点の作り方1-1	
		2節	批判的な視点の作り方1-2	
		3節	批判的な視点の作り方2-1	
		4節	批判的な視点の作り方2-2	
		5節	批判的な視点の作り方2-3	
		6節	異論と批判	
第14章	発表3(+相互評価) パラグラフを意識しながら、要約を作る	1節	課題説明	
発表3 課題提出期間				5/29~6/4
発表3 相互評価シート提出期間				6/7~6/14
第15章	最終発表 アウトラインを作る	1節	課題説明	6/5~6/23 ※最終発表の課題提出を行うまでに受講して下さい。
最終発表 課題提出期間				6/15~6/22
受講後アンケート				6月15日~6月23日がアンケート回答期間になります。
復習期間				最終発表提出後の6月23日は全章の復習期間としてください。

科目名	日本史演習Ⅰ・Ⅱ	開講単位数
担当講師名	鍋本 由徳	1

章番号	章名	項番号	項名	受講期間
	表紙			
第1章	はじめに		(導入)教員紹介	本講座の、受講期間は4月16日の開講日から6月23日までとなっています。 そのうち1~4章は「基礎編」として上記受講期間の全ての期間で公開しています。 5~12章[演習編]の各章の(導入)も、それぞれテキストの「原文」とその解説として期間中全て公開しています。 各章の「発表、全体討論」は課題発表がされた次の日から、教員・受講生 共にコメントを書き込むのに使用します。「読み下しの模範」は、各章の一週間の討論終了後に公開します。
			(導入)近世文書を読むための基礎知識	
		1-1	授業のねらいと構成	
		1-2	近世文書読解のための基礎知識(1)	
		1-3	近世文書読解のための基礎知識(2)	
1-4	第1章 自己点検			
第2章	『民間省要』と田中丘隅		(導入)『民間省要』の著者、田中丘隅	
		2-1	テキスト『民間省要』解題	
		2-2	著者田中丘隅について(1)	
		2-3	著者田中丘隅について(2)	
2-4	第2章 自己点検			
第3章	元禄~享保期の社会		(導入)元禄~享保期	
		3-1	享保改革開始時の幕府政治の動向	
		3-2	享保期の経済と流通	
		3-3	農村構造の変容	
3-4	第3章 自己点検			
第4章	教員によるテキスト読解		(導入)課題報告の際の注意事項	
		4-1	第一「地方の事」	
第5章	テキストを読む(1) (災害記事・「色取検見」に留意しつつ)		(導入)「検見」	全期間中公開
			全体討論	※Aグループ 4/26迄に発表 4/27から全体討論開始
			第5章読み下しの模範	5/3公開
第6章	テキストを読む(2) (年貢米上納の手続と農民負担に留意しつつ)		(導入)年貢米の納入	全期間中公開
			全体討論	※Bグループ 5/3迄に発表 5/4から全体討論開始
			第6章読み下しの模範	5/10公開
第7章	テキストを読む(3) (収穫までの手間・費用と田地賃入値段に留意しつつ)		(導入)田地売買	全期間中公開
			発表・全体討論	※Cグループ 5/10迄に発表 5/11から全体討論開始
			第7章読み下しの模範	5/17公開
第8章	テキストを読む(4) (収穫までの手間・費用に留意しつつ)		(導入)肥料や生産用具	全期間中公開
			発表・全体討論	※Dグループ 5/17迄に発表 5/18から全体討論開始
			第8章読み下しの模範	5/24公開
第9章	テキストを読む(5) (「検見」、江戸時代の貨幣制度に留意しつつ)		(導入)検見の手順	全期間中公開
			発表・全体討論	※Aグループ 5/24迄に発表 5/25から全体討論開始
			第9章読み下しの模範	5/31公開
第10章	テキストを読む(6) (農作業のサイクル、「金納」「小物成」に留意しつつ)		(導入)年貢早納、小物成	全期間中公開
			発表・全体討論	※Bグループ 5/31迄に発表 5/31から全体討論開始
			第10章読み下しの模範	6/7公開
第11章	テキストを読む(7) (「定免制」に留意しつつ)		(導入)定免制	全期間中公開
			発表・全体討論	※Cグループ 6/7迄に発表 6/8から全体討論開始
			第11章読み下しの模範	6/14公開
第12章	テキストを読む(8) (地主-小作関係の生成と展開に留意しつつ)		(導入)小作	全期間中公開
			発表・全体討論	※Dグループ 6/14迄に発表 6/15から全体討論開始
			第12章読み下しの模範	6/21公開
受講後アンケート				6月15日~6月23日がアンケート回答期間になります。
復習期間				※6/22~6/23の間は復習期間です。教員の総括を確認してください。

演習受講イメージ (例:Aグループ)

